オペレーター マニュアル

日本語

Trendsetter 400/800 (TSM バージョン)

653-00119A-JA-A

www.creo.com

Trendsetter 400/800

オペレーター マニュアル

creo™

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、および Acrobat ロゴは Adobe Systems, Inc. の登録商標で、米国特許商標局で登録されており、他の法域で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000、および Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,969,872	6,134,393	6,283,589
4,456,924	5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,973,801	6,136,509	6,295,076
4,500,919	5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,986,819	6,137,580	6,299,572
4,558,302	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,995,475	6,147,789	6,318,266
4,743,091	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,996,499	6,158,345	6,340,817
4,992,864	5,343,059	5,568,595	5,764,381	5,998,067	6,159,659	6,352,816
5,049,901	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,003,442	6,164,637	6,353,216
5,079,721	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,014,471	6,180,325	6,366,339
5,081,617	5,359,458	5,592,309	5,802,034	6,016,752	6,181,362	6,371,026
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,377,739
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,387,597
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,396,422
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,396,618
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,407,849
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,414,755
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,422,801
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,435,091
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,934,196	6,098,544	6,252,522	
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,942,137	6,107,011	6,260,482	
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,946,426	6,112,663	6,266,080	
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,947,028	6,115,056	6,266,134	
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,958,647	6,121,996	6,267,054	
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,966,504	6,130,702	6,268,948	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話: 1-604-451-2700
Fax: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

653-00119A-JA-A
(731-00060A-JA)
最終更新日: 2003 年 3 月

目次

このマニュアルの対象読者 x
このマニュアルでの表記規則 x
フォント x
記号 xi
PDF ドキュメント xi
その他の情報 xi

1 安全性 1

安全な操作に関する重要な注意事項 2
安全に関する情報 2
インストール 3
メンテナンス 3
安全に関する特長 4
緊急停止スイッチ 5

2 システムの概要 7

Trendsetter 400/800 システム 8
システム コンポーネント 8
出力デバイス 9
Trendsetter 400/800 コンポーネント 10
環境に関する仕様 12
消耗品 13
サポートされているメディア 14
複数のメディア サイズ 14
サポートされているメディア サイズ 14
メディアの方向 15
メディアの寸法 16
メディアの処理 16

3 操作 17

Trendsetter の開始 18
Trendsetter のシャットダウン 19
メディアのロード 20
イメージングされたメディアの取り外し 24
メディアの見当 24
プレートの曲げとパンチング 24

4 メンテナンス 25

メンテナンス スケジュール 26
安全のために 28

外部面の清掃 28
清掃時の推奨事項 29
汚れの除去 29
ロード ランプの清掃 29
出力デバイスの内部へのアクセス 30
前面パネルとトップ パネルの開閉 31
ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け 34
電源ボックス パネルの取り外しと取り付け 36
出力デバイスの内部への清掃 37
エッジ検出ストリップの清掃 37
プレート ローラーの清掃 39
エア サプライ フィルタの交換 40
圧縮エア サプライ フィルタ 40
吸気フィルタ 49
汎用塵除去キャビネット フィルタの交換 51

5 トラブルシューティング 53

オペレータが回復可能なエラー 54
警告メッセージ 54
エラーメッセージ 54
エラー メッセージと望ましい解決法 58
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 72
出力デバイスのリセット 72
出力デバイスから詰まったメディアの取り出し 73
後続エッジ クランプの移動 76
イメージ品質上の問題 78
電源の障害 78
トリップされた回路ブレーカー 78
出力デバイスの空圧の損失 79

A 部品番号 81

部品リスト 82

B ラベル 83

概要 84
ID と認証ラベル 85
ID ラベル 86
クラス 1 レーザー製品ラベル 87
CDRH 認証ラベル 87
CE ラベル 88
CSA ラベル 88
FCC 認証ラベル 88
C-Tick ラベル 89
レーザーの安全性ラベル 90
露出ヘッド アパチュア ラベル 91

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル 91
非インターロック式パネル危険ラベル 92
ドア インターロック危険ラベル 93
一般的な安全性ラベル 94
高圧漏れ電流ラベル 94
安全性インターロック オーバーライド ラベル 95
危険電圧ラベル 96
過熱表面注意ラベル 96
手を触れないでください警告ラベル 97
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル 97
ソレノイド ロック ラベル 98
ヒューズ交換ラベル 98

C 法律上の遵守事項 99

電気的および機械的な安全性 100
遵守の EC 宣言 101
レーザーの安全性 102
EMI/EMC の遵守 102
ノイズの放出 103

用語集 105

索引 109

このマニュアルの使用

このマニュアルの対象読者 x
このマニュアルでの表記規則 x
PDF ドキュメント xi
その他の情報 xi

このマニュアルの対象読者

このマニュアルは、Trendsetter® 400/800 出力デバイスを操作し、メンテナンスする人を対象にしています。

このマニュアルをお読みになる際は、以下の知識が必要とされます。

- 製版工程に関する実用的な知識
- Windows® オペレーティング システムの使用に必要な知識

このマニュアルは、以下を想定して記述されています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している。
- Creo システムに送信されたファイルには、見つからないフォントや PostScript® エラーなど、事前点検中に通常は解決されるエラーがない。

このマニュアルでの表記規則

このセクションでは、このマニュアルで使用されているフォント、用語、および記号について説明します。

フォント

Frutiger Bold は、ダイアログ ボックス内のボタンやその他のアイテム、ファイル名、フォルダ名、メニュー名、およびメニュー コマンドを指すために使用されます。

Minion Italic は、マニュアル内のほかの章、ブック タイトル、およびその他のマニュアルのタイトルを指すために使用されます。

Frutiger は、図や表のキャプションに対して使用されます。

`Letter Gothic` は、コンピュータ画面に表示されるメッセージや、ユーザーが入力しなければならない情報に対して使用されます。

SMALL CAPS は、キーボードのキーまたはキーの組み合わせに対して使用されます。

記号



危険: この記号は明らかに危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



警告: この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る可能性のある状況を示します。この記号は人体への怪我の危険が関連していない限り、物的な損害を伴う事故については警告しません。



注意: この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または軽傷に至る可能性のある状況を示します。これは、安全でない行為や潜在的に財産物にのみ損害を及ぼす事故についても警告します。



重要: この記号は、処理の遅れや機能性、信頼性、品質の低下の原因となる事項を示します。



備考: 考慮する必要があると思われる追加情報が提供されます。

PDF ドキュメント

このマニュアルは、PDF (Portable Document Format) 形式によっても提供されています。

PDF ドキュメントは、Adobe® Acrobat® Reader を使用してオンライン表示したり、印刷することが可能です。マニュアルを印刷する際は、著作権および免責条項を含めたマニュアル全体を印刷してください。

その他の情報

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、およびサービスとサポートの連絡先については、www.creo.com を参照してください。

1 安全性

安全な操作に関する重要な注意事項 2
安全に関する情報 2
安全に関する特長 4

安全な操作に関する重要な注意事項



警告: Trendsetter 400/800 を使用前に、このマニュアルを読み、理解する必要があります。

Trendsetter 400/800 を使用する場合、すべての安全に関する注意と望ましい手順に従う必要があります。このマニュアルは、Trendsetter 400/800 を操作する人が誰でも読めるようにしておくことが重要です。

このマニュアルの情報を読み、理解し、従わなかった場合は、怪我または永久に身体障害を至らしめる可能性があります。

安全に関する情報

このマニュアル全体では、Trendsetter 400/800 の安全な操作に関連する指示や警告が示されています。次の指示に厳密に従うことが、マシンの安全な操作の上で重要です。

1. アクセス パネル インターロック システムを妨げないでください (4 ページの「インターロック システム」を参照)。
2. 認定されたメディアのみを使用してください (14 ページの「サポートされているメディア」を参照)。
3. 出力デバイスが動作中は可動部分から手や指を離してください (4 ページの「インターロック システム」を参照)。
4. 出力デバイスがシャットダウンしているときにのみ、メンテナンスを実行してください (26 ページの「メンテナンス スケジュール」を参照)。
5. 必要なときにのみアクセス パネルを開いてください (4 ページの「インターロック システム」と 30 ページの「出力デバイスの内部へのアクセス」を参照)。
6. エア サプライ フィルタの操作をするときにエア サプライをシャットオフしてください (40 ページの「圧縮エア サプライ フィルタ」を参照)。
7. クランプ タブを正しく整列させてください (76 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照)。
8. 許可されない修理を行ったり、変更を行わないでください (3 ページの「メンテナンス」を参照)。
9. メディアと磁気クランプを取り扱うときは、保護グローブを着用してください (20 ページの「メディアのロード」を参照)。

10. 出力に水やそのたの液体が自由に入り込まないようにしてください (28 ページの「外部面の清掃」を参照)。
11. 洗剤を定期的に使用しないでください (29 ページの「汚れの除去」を参照)。
12. ペースメーカーを使用している場合は、磁気クランプの取り扱いに注意してください (73 ページの「出力デバイスから詰まったメディアの取り出し」を参照)。
13. Creo が認定した交換フィルタのみを使用してください (13 ページの「消耗品」を参照)。

すべての危険、警告、および注意は、安全上の情報を提供するものです。危険、警告、および注意を無視すると、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。

火事の場合の対応

出力デバイスで出火した場合、電源をオフの位置にしてください。19 ページの図 7 を参照してください。

インストール

出力デバイスの設置と初期稼動は、認定されたサービス代理店により実行されなければなりません。出力デバイスがインストールされ、それがオンになっているとき、操作環境と接続の要件が満たされていることを確認してください。

メンテナンス

第 4 章「メンテナンス」に記載されたメンテナンス手順に沿ってのみメンテナンスを行ってください。ほかのメンテナンス手順を実行したり、何らかの理由でカバーや筐体を取り外した場合には、怪我をする恐れがあります。ほかのメンテナンスやすべてのサービス作業は、認定されたサービス代理店のみが行うようにしてください。



危険: 出力デバイスに許可のないパネルの取り外し、修理、または変更を行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

安全に関する特長

インターロック システム

出力デバイスにはインターロック システムが装備されています。これは、ユーザーを次のものから怪我から守ります。

- 可視および不可視の高電力レーザー放射線
- 可動機械部品

露出ヘッドからのレーザーの放出は裸眼では目に見えませんが、皮膚や目に接すると非常に危険です。出力デバイスが稼動中にアクセス パネルを開いたり、取り外す場合、インターロック システムは次のことを行います。

- すべての機械的な動作を中断する
- レーザーの電力をオフにする

アクセス パネルを開いたり、取り外すとき機械的動作が停止しない場合、以下のとおり行ってください。

1. 出力デバイスをシャットダウンする。
2. アクセス パネルを閉じるか、交換する。
3. できるだけ早く認定されたサービス代理店に連絡する。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。



注意: 出力デバイス アクセス パネルを開いたり、取り外したり、交換することに関しては、このマニュアルの安全上の推奨事項と手順に特別な注意を払ってください。注意を無視すると、人体に怪我を負ったり、機器が損傷する恐れがあります。



危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

緊急停止スイッチ

緊急停止スイッチは、それを押すと、すべてのマシンの操作を中断する安全装置です。前面パネルの下の出力デバイスの内側にあります。

認定されたサービス代理店のみが使用するために用意されています。このスイッチを間違って押してしまった場合は、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。

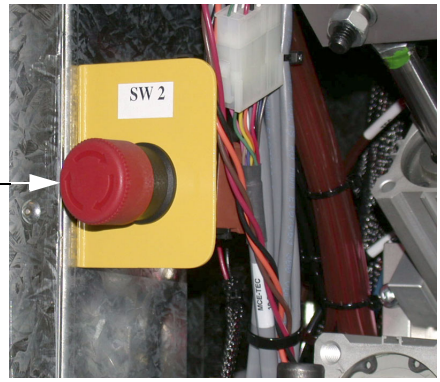


図 1: [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

緊急停止スイッチをリセットする方法については、72 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。

緊急停止スイッチの使用法について質問がある場合は、出力デバイスのシリアル番号を書きとめ、認定されたサービス代理店に問い合わせてください。シリアル番号は ID ラベルに書かれています (このラベルはエア サプライ フィルタの隣の右下のバック パネルにあります)。このラベルの例については、86 ページの図 34 を参照してください。

2

システムの概要

Trendsetter 400/800 システム 8
システム コンポーネント 8
出力デバイス 9
Trendsetter 400/800 コンポーネント 10
環境に関する仕様 12
消耗品 13
サポートされているメディア 14

Trendsetter 400/800 システム

Trendsetter 400/800 出力デバイスは、コンピュータとプレート システムを接続する統合部です。4 ページまたは 8 ページの出力デバイスは、従来の印刷や水を使用しない印刷用のフィルムやプレートのいずれかを露出するための Creo サーマル イメージング技術を使用します。半自動メディア ロードとアンロード、高速処理量、PostScript 互換、自動見当などを特長としています。

システム コンポーネント

Trendsetter 400/800 システムは出力デバイス、ワークステーション、および Print Console ソフトウェアから構成されています。

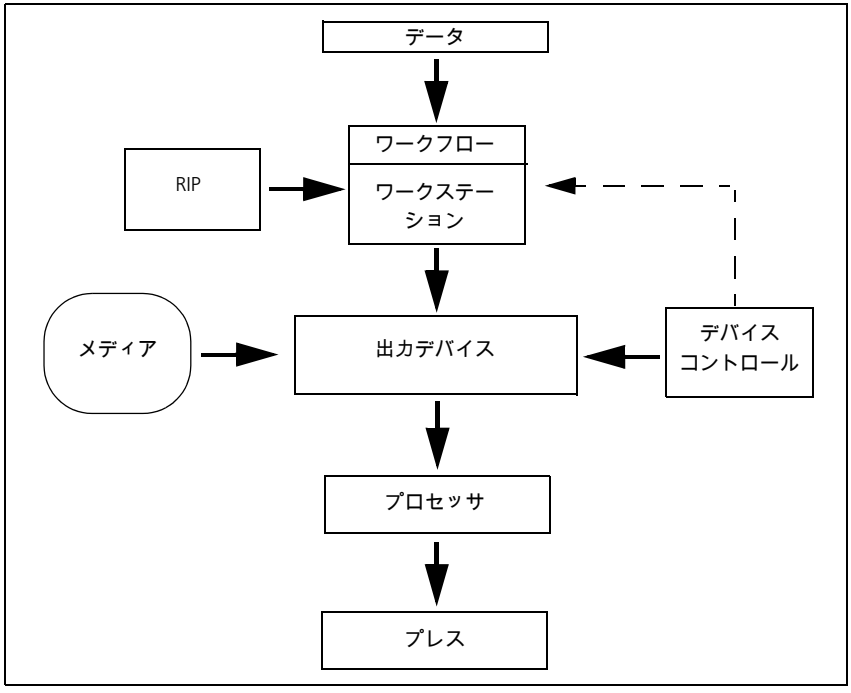


図 2: Trendsetter 400/800 コンポーネント

このマニュアルには、出力デバイスに関する情報のみが含まれています。ソフトウェアのドキュメントについては、『Print Console クィック スタート ガイド』と Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

出力デバイス

このマニュアルは出力デバイスを自分の前に置いて操作することを前提に書かれています。図 3 は、出力デバイスの主な部品を示します。



図 3: 出力デバイスの部品

Trendsetter 400/800 コンポーネント

Trendsetter 400/800 出力デバイスには、以下のコンポーネントが含まれます。これらのコンポーネントの場所については、9 ページの図 3 を参照してください。

ロード ランプ

ガラス ランプは、出力デバイスにイメージングするメディアの入口点と出口点です。1 つのメディアはロード ランプに手動で配置され、出力デバイスによりイメージングされ、ロード ランプに返されます。

オペレータ インターフェイス

オペレータ インターフェイスは、出力デバイスのステータスを示します。オペレータ インターフェイスのライトが点滅している場合、出力デバイスはタスクを実行中であるか、タスクの実行準備ができています。ライトが点灯したままの場合、インターフェイスは出力デバイスのステータスのみを伝達します。

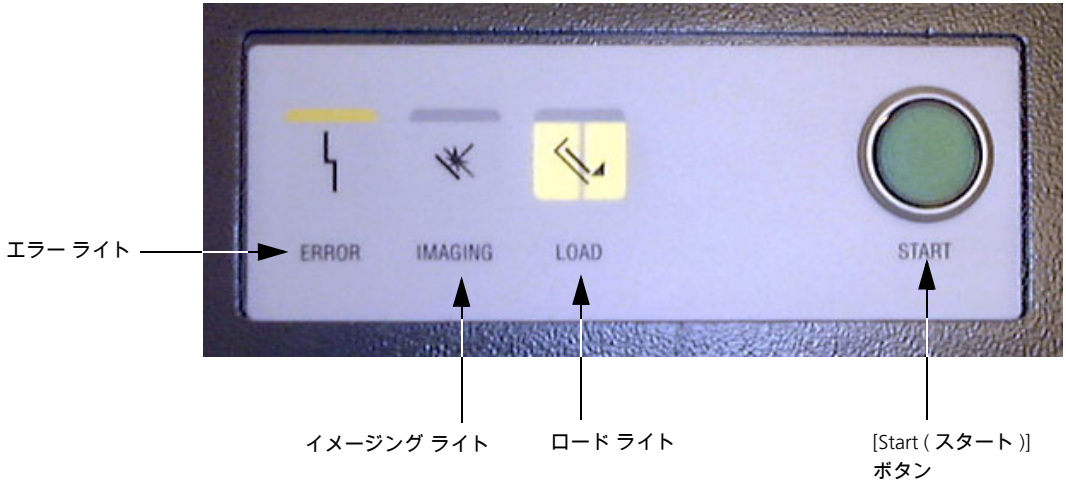


図 4: オペレータ インターフェイス

表 1: インターフェイス ライト

ライトの種類	状態	意味	必要なオペレータの操作
エラー ライト	白の点滅	エラーが発生し、ジョブが中断されます。	Print Console に表示された指示に従ってください。エラーが解決すると、エラー ライトの点滅が止まります。 詳細については、54 ページの「オペレータが回復可能なエラー」を参照してください。
	オフ	出力デバイスがエラーなしで操作中です。	オペレータの操作は必要ありません。
イメージング ライト	緑の点滅	出力デバイスはメディアをイメージングしています。	オペレータの操作は必要ありません。イメージング ライトは、イメージングが進行中であるときのみ点滅します。
	オフ	出力デバイスはイメージングしていません。	オペレータの操作は必要ありません。
ロード ライト	緑の点灯	半自動モード: • 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができています。 • 出力デバイスは、オペレータがメディアをアンロードするのを待っています。	メディアのロードは、見当ピンにメディアをセットし、メディア ラベルとそれを整列させます。 ライトはイメージング プロセス全体を通じて点灯したままになります。つまり、ジョブが承認されてから、最終メディアがアンロードされるまでです。
	オフ	出力デバイスはイメージングしていません。	オペレータの操作は必要ありません。

[Start (スタート)] ボタン

手動でメディアをロードした後で (登録ピンにメディアをセットし、メディア ラベルにメディアを整列させる)、[Start (スタート)] ボタンを押してイメージング プロセスを開始します。

環境に関する仕様

Trendsetter 400/800 は、クリーンなプリプレス領域にインストールされなければなりません (『Trendsetter 400/800 サイトの準備と要件に関するドキュメント』、Creo ドキュメント番号 73-3145)。

出力デバイスがインストールされ、使用中のときに、オペレーティング環境と接続要件が満たされていることを確認してください。

Trendsetter 400/800 のオペレーティング環境の要件は、次のとおりです。

- 温度:17°C–30°C (63°F–86°F)
- 湿度:20%–70% RH、凝結なし

オフィス環境におけるノイズの放出に関しては、103 ページの「ノイズの放出」を参照してください。

必要な操作条件

出力デバイスは被爆熱ヘッドを使用し、サーマル プレートをイメージングするため、暗室は必要ありません。

消耗品

Creo が認定したフィルタのみを使用してください。出力デバイスは、代替または未許可のフィルタを使用しようとした場合正しく操作できない場合があります。

Trendsetter 400/800 で使用する消耗品材料は、次のものから構成されます。

表 2: 消耗品材料

品目	説明
フィルタ	空気の質を維持するために出力デバイスに使用される多くのフィルタ。詳細については、40 ページの「エア サプライ フィルタの交換」を参照してください。
塵フィルタ	すべての Trendsetter は塵除去システムを装備しています。詳細については、51 ページの「汎用塵除去キャビネット フィルタの交換」を参照してください。
メディア	詳細については、14 ページの「サポートされているメディア サイズ」を参照してください。
プロセッサ消耗品	プロセッサの消耗品に関連する情報については、メーカーの資料を参照してください。

サポートされているメディア

複数のメディア サイズ

設置時に、出力デバイスは使用するメディアのサイズに合わせて設定されます。

Print Console のメディア サイズを後で変更できます。詳細については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。Trendsetter 400/800 によりサポートされているメディア サイズのリストについては、14 ページの「サポートされているメディア サイズ」を参照してください。

サポートされているメディアに関する最新情報は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

サポートされているメディア サイズ

表 3: サポートされているメディア サイズ

Trendsetter モデル	最大サイズ	最小サイズ
400	813 mm x 762 mm 32" x 30"	305 mm x 229 mm 12" x 9"
800	838 mm x 1,143 mm 33" x 45"	305 mm x 229 mm 12" x 9"

メディアの方向

次の情報は、出力デバイスによりサポートされている各メディア サイズの適切な方向を識別します。

表 4: サポートされているメディアの方向

Trendsetter モデル	メディア サイズ:	メディアの方向
400/800	813 mm x 762 mm 32" x 30"	縦
	838 mm x 1,143 mm 33" x 45"	横
	305 mm x 229 mm 12" x 9"	縦

縦方向に関する詳細

縦方向を使用すると、イメージング時間を短縮できます。しかし、縦方向を使用する前に次のことを考えてください。

- 出力デバイスはクランプの下をイメージングできないため、メディアの端までイメージングできません。
- 出力デバイスはメディアの短い辺に沿って登録するため、長い辺にパンチをしなければなりません。(短い辺にパンチするには、プレートを正確に正方形に切り取る必要があります。)

メディアの寸法

次のメディアの寸法が、Trendsetter 400/800 に適用されます。それらは、プレスにメディアを載せるなど、他のプレスルームの操作で定義したメディア寸法を適用しない場合があります。

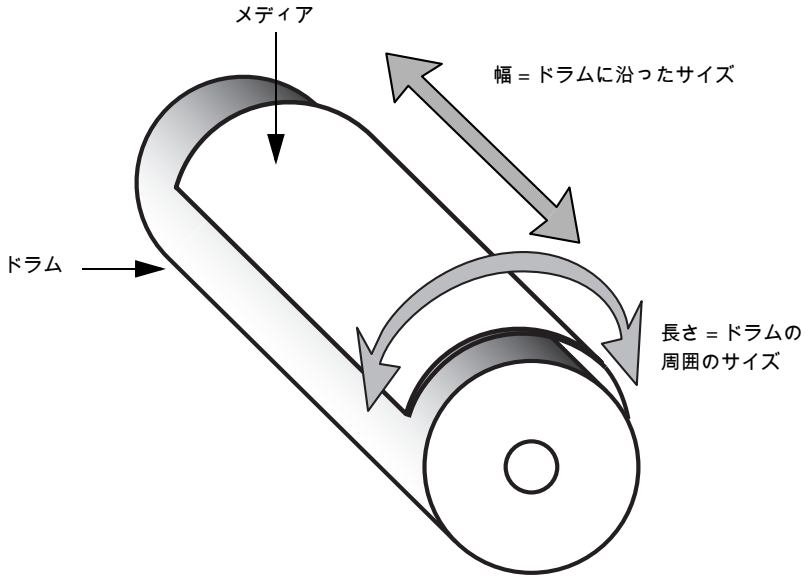


図 5: メディア寸法 — 横方向

重要: 出力デバイスはドラムに沿ったメディアのサイズを測定しません。メディアの長さ (ドラムの周囲) が正しいが、幅 (ドラムに沿った) が Print Console で選択したメディア サイズに対応していない場合、出力デバイスはそのまま続行し、メディアをイメージングするか、エッジ検出エラーが発生します。これによって、出力デバイスが損傷を受けることはありません。しかし、出力デバイスは正しくないサイズのメディアがイメージングされたことを通知しません。

メディアの処理

Trendsetter 400/800 によりサポートされているメディアの一部には、イメージング後に処理が必要なものがあります。メディアの処理については、メディアのメーカーのドキュメントを参照してください。

3

操作

Trendsetter の開始 18
Trendsetter のシャットダウン 19
メディアのロード 20
イメージングされたメディアの取り外し 24
メディアの見当 24

Trendsetter の開始

ウォームアップ時間

Trendsetter 400/800 出力デバイスはオンにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかることがあります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

出力デバイスを開始する

1. 出力デバイスをオンにします。

   電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを時計回りに回してください。

   出力デバイスが開始しない場合、回路ブレーカーをトリップする必要があります。回路ブレーカーをリセットする方法については、78 ページの「トリップされた回路ブレーカー」を参照してください。

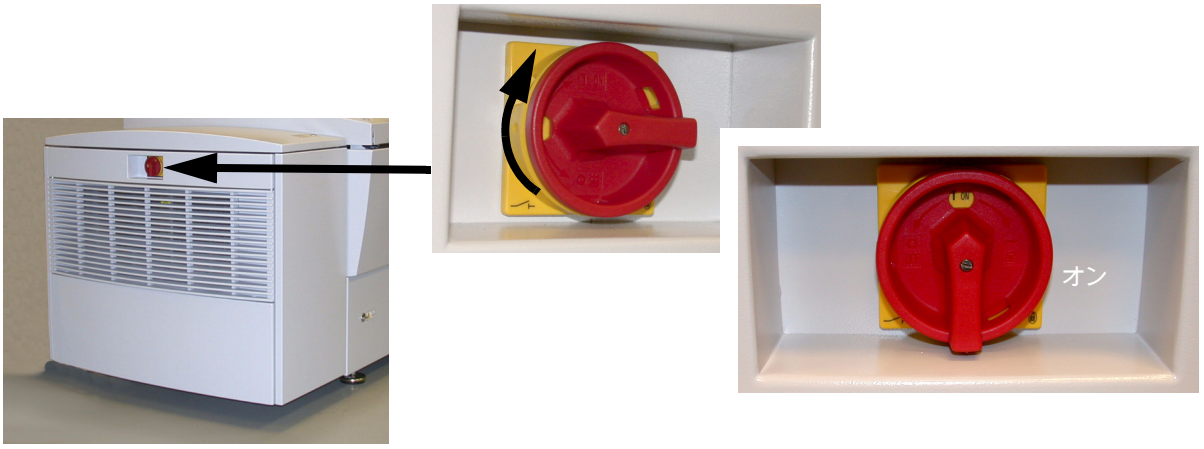


図 6: 電源スイッチをオン ポジションまで回す

2. ワークステーションをオンにします。

   ワークステーションをオンにするための詳細については、ワークステーションと共に受け取った資料を参照してください。

3. Print Console を始動します。

   Print Console の開始については、『Print Console クィック スタート ガイド』を参照してください。

   出力デバイスが準備完了のとき、オペレータ インターフェイスのロード ライトが緑に点灯します。

Trendsetter のシャットダウン

通常は、ワークステーションを常に実行中にしておきます。

Print Console の終了に関しては、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

備考: 出力デバイスをシャットダウンする前に、ドラムからすべてのメディアを取り除きます。

出力デバイスをシャットダウンする

➢ 電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにします。

電源スイッチは電源ボックス パネルの一番上にあります。電源スイッチを反時計回りに回してください。

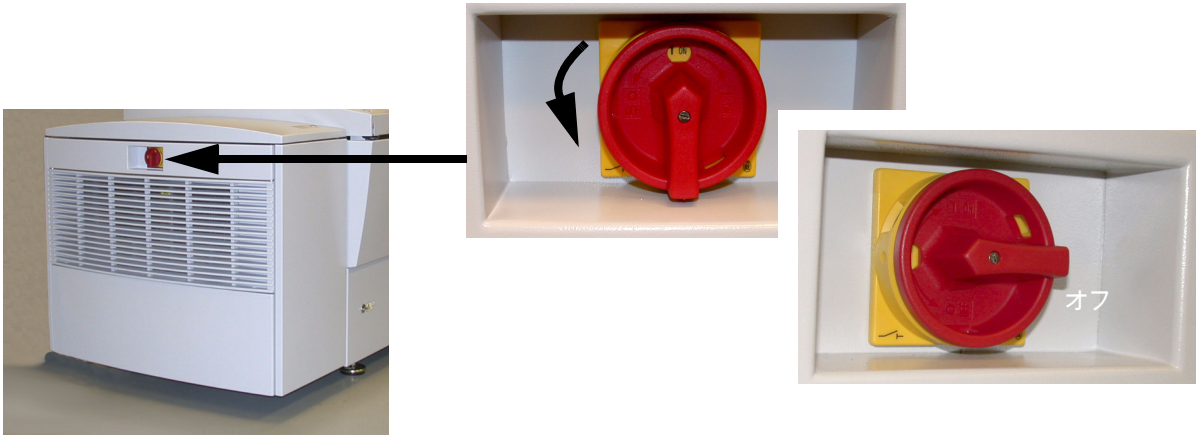


図 7: 電源スイッチをオフ ポジションまで回す

メディアのロード

メディア (プレートまたはフィルムなど) はロード ランプに 1 回に 1 枚ずつ手動でロードされます。イメージング後、メディアはロード ランプに返されます。

プレートやフィルムのロード手順はほぼ同じです。若干の違いがある場合には注記に示されます。

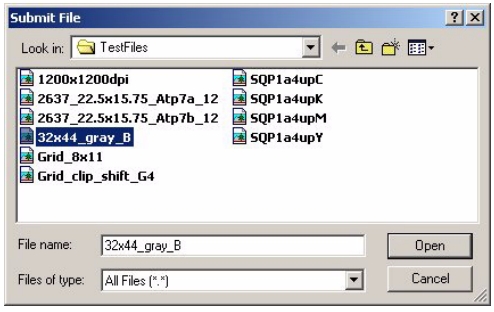
注意: プレートのエッジは鋭い可能性があります。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

重要: フィルムをイメージングするには、出力デバイスのフィルム ガイドが必要になります。これは、無料で注文できるオプション機器です。詳細については、認定されたサービス代理店までお問い合わせください。

Polaroid DryTech フィルムを使用する前に、フィルム用に Print Console を設定する必要があります。特にカット エッジのある Polaroid DryTech フィルムを使用するときは、非常に注意深く取り扱ってください。フィルムからフロント レイヤが一度はがれてしまうと、ラミネートされなくなり、イメージングができなくなります。詳細については、Print Console オンライン ヘルプを参照するか、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

メディアをロードする

1. Print Console で、イメージングするファイルを送信します。



詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

2. 出力デバイスはイメージングのためのメディアの受付準備ができていることを確認します。

   この意味は次のとおりです。

   - Print Console では [Load Plate (プレートのロード)] ダイアログ ボックスが表示されます。ロードするサイズとタイプを知らせます。
   - オペレータ インターフェイスのロード ライトが緑で点滅します。
   - ロード ランプのベースにあるシールされたメディアの入口と出口のドアが開いています。

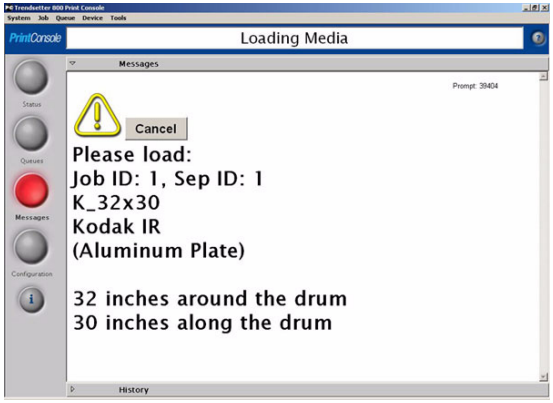


図 8: [Load Media (メディアのロード)] ダイアログ ボックス

3. ロードするサイズとタイプを決めます。
4. グローブを着用し、パッケージからメディアを取り出します。メディアに付着しているパッケージ材料を破棄します。

備考: ロード ランプにメディアを置く前または後のいずれかに、すべてのスリップ シートを取り除きます。

注意: 出力デバイスでプレートをイメージングする前に、すべてのスリップ シートとパッケージ材料がプレートから取り除かれていることを必ず確認してください。そうしないと、サーマル レーザーが紙に点火し、出力デバイスで火事が起こります。

5. ロード ランプにメディアを置きます。



図 9: メディアのロード

メディアをロードするときに、出力デバイスに寄りかからないでください。そうすると、メディアの見当が間違うことになります。

備考: メディアのイメージング面 (エマルジョン面) が自分の方を向いていることを確認します。メディアでは、エマルジョン面が通常は艶消し面になっています。

備考: Polaroid DryTech フィルムでは、イメージングされる面がフィルムの背面よりも艶があります。

6. メディアを出力デバイスに向かって、ロード ランプのベースが見当ピンに触れるまでゆっくりと下ろします。

7. ロード ランプのメディアを該当するメディア整列ラベルに揃えます。

   メディアの縦のエッジがロード ランプの縦のエッジと平行であることを確認してください。

   - 559 mm (22") 以上のメディアはロード ランプで中央揃えしなければなりません (見当ピンに正しくはまっているため、メディアをシフトする必要はありません)。
   - 324 mm (12.75") 以上で 559 mm (22") までのメディアは、約 102 mm (4") 中心から右へずらす必要があります。これにより、メディアは見当ピンに適切にはまります。
   - 324 mm (12.75") 以下のメディアは、約 165 mm (6.5") 中心から右へずらさなければなりません。これにより、メディアは見当ピンに適切にはまります。



備考: ロード ランプにメディア整列ラベルがない場合、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

8. メディアをリリースします。
9. (ロード ライトが緑に点灯しているとき) [Start (スタート)] ボタンを押します。



重要: [Start (スタート)] ボタンを押すときに、メディアに触れないでください。

Trendsetter 400/800 がロードされ、メディアがイメージングされます。

イメージングされたメディアがロード ランプに戻り、ロード ライトが再び点滅します。

イメージングされたメディアの取り外し

出力デバイスからのイメージングされたメディアの取り出し

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを完了したことを確認します。

   イメージングが完了すると、ロード ライトが点滅し、イメージングされたメディアがロード ランプからアンロードされます。



   注意: プレートの端は鋭くなっています。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

2. グローブを着用し、メディアの端をつかみます。メディアを上に持ち上げ、注意深くロード ランプからメディアを取り外します。

メディアの見当

メディア整列ラベルは、設置時に出力デバイスのロード ランプに貼り付けられています。貼り付けられていない場合、自分自身でロード ランプにラベルを貼り付けることができます。これらのラベルは、ロード中にメディアに整列させるときのガイドラインとなります。出力デバイスのレーザーは、より正確な見当を行います。レーザー光線は、次のような場合、15 ミクロン内に見当を修正します。

- ロード ランプの正しい位置から 3 mm (0.125") 以内にメディアをロードします。メディア整列ラベルが貼られている場合、それを使用して素早く正しい位置を識別します。
- メディアをロード ランプのベースの見当ピンに合わせて置きます。これらのピンは、ドラム上にメディアの見当が正しく配置されるように保証します。

これらの手順を実行すると、メディア エッジの検出がより高速に行われるため、全体的なイメージング時間が短くなります。

プレートの曲げとパンチング

既存のプレートの曲げとパンチングの機器が、出力デバイスの見当ポイントに合うように設定されていることを保証してください。『Trendsetter 400/800 Quantum サイトの準備と要件』の資料 (Creo 資料番号 73-3145) を参照してください。

詳細については、認定されたサービス代理店までお問い合わせください。

4 メンテナンス

メンテナンス スケジュール 26
安全のために 28
外部面の清掃 28
出力デバイスの内部へのアクセス 30
出力デバイスの内部への清掃 37
エッジ検出ストリップの清掃 37
プレート ローラーの清掃 39
エア サプライ フィルタの交換 40
汎用塵除去キャビネット フィルタの交換 51

メンテナンス スケジュール

27 ページのï 5 は、出力デバイスから最適なパフォーマンスと品質を達成するために必要なメンテナンスを概説します。このメンテナンスを実行しない場合、パフォーマンスが劣化し、出力デバイスに深刻な損害を与える可能性があります。スケジュールされたダウンタイムが数時間必要ですが、定期的なメンテナンスにより出力デバイスが適切に維持され、予定外の故障を最小限に抑えます。

出力デバイスのメンテナンスを実行するときに記録をとります。

Creo サービス契約を締結している場合、認定されたサービス代理店により 6 ヶ月ごとの定期的なサービスを計画してください。しかし、操作状況がより頻繁なメンテナンスを必要とする場合、サービスの前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。



警告: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。



危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

表 5: 推奨メンテナンス手順のスケジュール

場所	説明	メンテナンス手順	清掃	... 毎に交換
出力デバイス エクステリア	エクステリア面	28 ページを参照してください。	毎週	非適用
ロード ランプ	グラス ランプ	29 ページを参照してください。	毎週	非適用
塵除去キャビネット	特定の塵フィルタ	『汎用塵除去キャビネット オペレータ マニュアル』を参照してください。	非適用	Print Console に次のエラー メッセージが表示されとき
エッジ検出ストリップ	ドラムのエッジ検出ストリップ	37 ページを参照してください。	毎 3 ヶ月	非適用
プレート ローラー	メディアのロード中にドラムにメディアを保持するゴム製のローラー	39 ページを参照してください。	毎月	非適用
右下のバック パネルの圧縮エア サプライ フィルタ	• 5 µm フィルタ	43 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月
	• 0.01 µm フィルタ	46 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月
	フィルタ ボール	オイルまたは水をチェックしてください。 42 ページを参照してください。	毎週	ヒビが入ったとき
ファン ボックス パネル内の吸気フィルタ	吸気フィルタ	49 ページを参照してください。	非適用	6 ヶ月

交換の詳細については、付録 A「部品番号」を参照してください。

安全のために

出力デバイス アクセス パネルは、レーザー放射と可動機械部品からの怪我から保護するインターロック システムを装着しています。出力デバイスが動作中にパネルが開いたり、取り外された場合、すべての機械的可動部品が活動を停止します。機械的な動作が停止しない場合、次の手順に従ってください。

1. 出力デバイスをシャットダウンする。
2. アクセス パネルを閉じるか、交換する。
3. 認定されたサービス代理店に問い合わせてください。

出力デバイスの内部部品に触れたり、停止しようとしないでください。



危険: アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。

外部面の清掃

毎週、Trendsetter 400/800 の外部を清掃します。

出力デバイスの外部面の清掃は、外観と仕上げを保存し、視覚的なインジケータとマークが明確に見えることを保証します。もっとも重要なことは、定期的な清掃により、アクセス パネルが取り外されるか、開いたときにデバイスに落ちる埃の量が減ります。塵の蓄積に対する最も敏感な部分はファン ボックス パネル、電源ボックス パネル、前面とトップ パネル、および出力デバイスでメディアが出入りする部分です。

塵除去キャビネットの外部を毎週、清掃してください。『汎用塵除去キャビネット オペレータ マニュアル』を参照してください。

信頼性の高い、高品質の出力は、出力デバイスの外部をクリーンに保つことを前提としています。

清掃時の推奨事項

出力デバイスの外部面を清掃する前に、すべてのアクセス パネルのシームを掃除機で吸い上げ、蓄積した埃を取り除きます。頻繁に行い、環境が相対的に乾燥していて、蒸気が少ない場合、乾いた布で面を簡単に拭くだけでも十分な場合もあります。清掃を徹底的に行うときは、水と中性洗剤で浸した布を使用します。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。



危険: 出力デバイスの内側には水またはその他の液体が入り込まないようにしてください。水が入り込むと、怪我をしたり、感電し、機器に損傷を与えることがあります。

汚れの除去

出力デバイスの外部面から汚れ (インクなど) を除去するためには、水と中性洗剤を浸した布で汚れを直ちにふき取ってください。きれいな、ぬれた布で、すべての残った洗剤を徹底的にふき取ってください。中性洗剤と水では汚れが落ちない場合、汚れを除くために少量のイソプロピル アルコールを使用してください。

ロード ランプの清掃

きれいな布とガラス クリーナーで毎週、ガラス ロード ランプを清掃してください。



注意: ロード テーブルやオペレータ ドアに直接、化学ガラス クリーナー水を吹きかけないでください。出力デバイスの内部に水が入り込み、損傷を与える可能性があります。まず、布を洗剤で濡らし、ロード ランプを拭いてください。

ガラス ロード ランプを清掃する

1. きれいな布をガラス クリーナーで濡らします。
2. ロード ランプをそっと拭き、そのまま乾かします。

出力デバイスの内部へのアクセス

定期的なメンテナンスとトラブルシューティングでは、出力デバイスの一部の内部領域へのアクセスを必要とします。以下の節では、これらの領域へのアクセスの方法を示します。

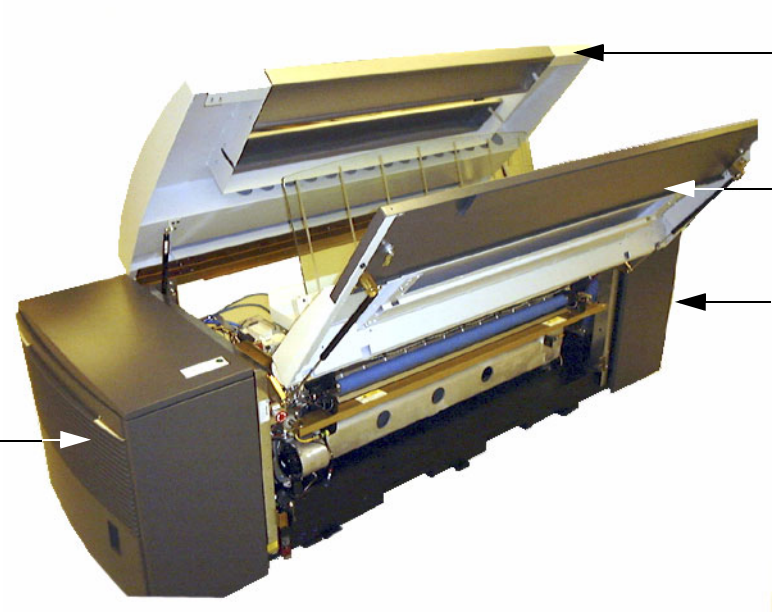


図 10: 内部にアクセスするためのパネル

トップ パネル、フロント パネル、ファン ボックス パネル、および電源ボックス パネルは、出力デバイスの内部へのオペレータのアクセスは制限されています。ファン ボックス パネルでは、吸気フィルタにアクセスできます。電源ボックス パネルでは、出力デバイス ポンプのヒューズと回路ブレーカー にアクセスできます。電源ボックス パネルを取り外すと、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができるサービス アクセス パネルが見えます。

出力デバイスの背面パネルにはアクセスできません。認定されたサービス代理店のみが取り外すことができます。

備考: パネルのオープンと取り外しにより、レーザーへの電源が切断されます。パネルが閉じたり、交換されてからレーザーが再びウォームアップするまで、最大 2 分間かかります。レーザーがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。



注意: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。

前面パネルとトップ パネルの開閉

前面パネルとトップ パネルは連動しています。前面パネルを開くと、自動的にトップ パネルが開きます。次のような場合に、これらのパネルを開く必要があります。

- ドラムからスタック プレートを取り外す – 73 ページの「出力デバイスから詰まったメディアの取り出し」を参照。
- プレート ローラーを清掃する – 39 ページの「プレート ローラーの清掃」を参照。
- エッジ検出ストリップを清掃する – 37 ページの「エッジ検出ストリップの清掃」を参照。



注意: ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。これらの指示に従って、前面パネルを開いてください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

フロントとトップ パネルを開く

1. Print Console で、[Device (デバイス)] メニューから [Unlock panel doors (パネル ドアのロック解除)] を選択します。

   前面パネルのロックが解除されます。

2. 前面パネルの 2 個のラッチを 90º 反時計回りに (垂直の位置まで) 回転させます。

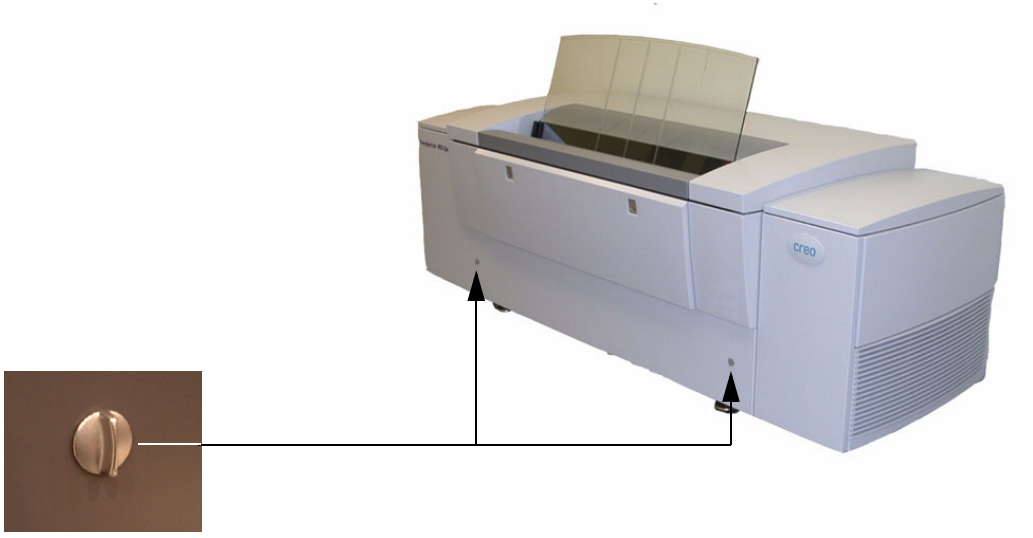


図 11: 前面パネルのラッチ

3. 前面パネルを上に持ち上げます。

   前面パネルはガス ストラットで制御されており、自動的に上に開きます。

   トップ パネルはガス ストラットで制御されており、自動的に上に開きます。

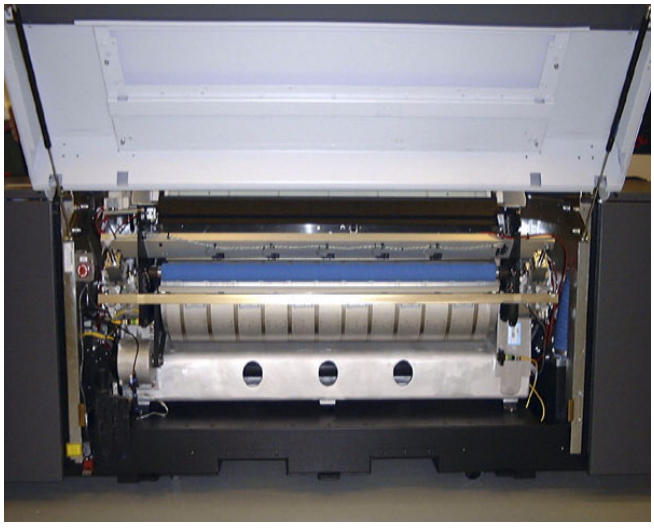


図 12: 前面パネルを持ち上げる

注意: 持ち上げたパネルに頭をぶつけないでください。

フロントとトップ パネルを閉じる

1. フロント パネルを閉じて、両方のラッチを 90º 時計回りに (水平の位置まで) 回転させ、しっかりと締めます。
2. 持ち上げられているトップ パネルをつかみ、引き下げます。2 つの角を押して、内部ラッチをロックします。

   トップ パネルは、フロント パネルが完全に閉じ、締まるまで、閉められません。

   フロント パネルのロックが再びかかります。

ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け

吸気フィルタを交換するためには、ファン ボックス パネルを取り外す必要があります。

警告: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

ファン ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、ファン ボックスの両方の上端をカチッと音がするまで押します。

   パネルがポンと開きます。



図 13: ファン ボックス パネルを取り外す

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

ファン ボックス パネルを取り付ける

1. ファン ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます。

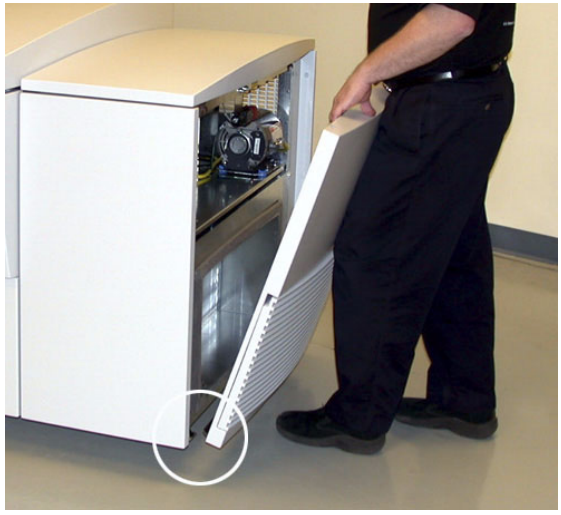


図 14: ファン ボックス パネルを取り付ける

2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの両方の上端を押します。

   両方のファン パネルのラッチがロックされます。

電源ボックス パネルの取り外しと取り付け

回路ブレーカーがトリップしたときにリセットするために、またはポンプ ヒューズを交換するためには、電源ボックス パネルを取り外さなければなりません。



警告: メンテナンス手順を実行する前に、出力デバイスがメディアをイメージングしていないことを確認してください。その後、出力デバイスをシャットダウンしてください。

電源ボックス パネルを取り外す

1. 手のひらを使って、電源ボックスの両方の上端を、カチッと音がするまで押します (方法については、34 ページの図 13 を参照)。

   パネルがポンと開きます。

2. パネルを上に出力デバイスから離すように持ち上げます。

   パネルを邪魔にならない場所に置きます。

電源ボックス パネルを取り付ける

1. 電源ボックス パネルを持ち上げ、パネルの穴と出力デバイスの位置決めピンを整列させます。パネルの底をピンの上に乗せます (方法については、35 ページの図 14 を参照してください。)

2. パネルをデバイスの上に乗せ、カチッというまでパネルの両方の上端を押します。

   両方の電源パネルのラッチがロックされます。

3. 出力デバイスの電源をオンにします。

出力デバイスの内部への清掃

27 ページのï 5 に示されているように、出力デバイスの内部に定期的にルーチンのメンテナンスを実行する必要があります。

危険: 出力デバイスの内側には水またはその他の液体が入り込まないようにしてください。水または液体が入り込むと、怪我をしたり、感電するばかりか、機器に損傷を与えることがあります。

エッジ検出ストリップの清掃

メディアのエッジにイメージを登録するには、出力デバイスはエッジ検出アルゴリズムを使用します。このアルゴリズムは、先頭のエッジ クランプの脇、出力デバイスの内部のドラムの面にある 741 mm (29.2") ストリップ セットに依存しています。このストリップは黒の艶消しです。

エッジ検出の誤作動を避けるためには、3 ヵ月ごとにエッジ検出ストリップを清掃する必要があります。

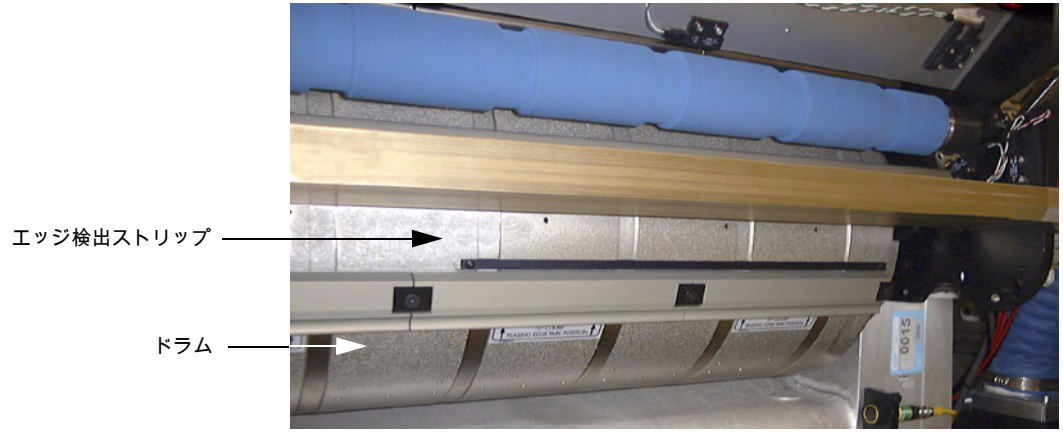


図 15: エッジ検出ストリップおよびドラム

エッジ検出ストリップを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。

3. 前面パネルを開きます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

4. エッジ検出ストリップが見えるまでドラムを手で回転させます。

   37 ページの図 15 は、ドラムとエッジ検出ストリップの位置を示します。



注意: ドラムの右端面をつかまにでください。ドラムの光学エンコーダーを損傷させる可能性があります。

5. (細かい作業のために) 布を 90% のイソプロパノールと 10% の水を混ぜた溶液に浸し、各ストリップを 1 度ずつ 1 方向にのみ拭きます。

   ストリップに指紋や汚れを付着させないように注意してください。



備考: エッジ検出ストリップの清掃用には、Kimberly Clark の Kimwipes® EX-L (Wipers) をお勧めします。



注意: イソプロパノールの製造業者からのすべての注意事項をよく読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

6. 前面パネルを閉じます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

プレート ローラーの清掃

プレート ローラーを毎月、清掃します。



図 16: プレート ローラーおよびドラム

注意: プレート ローラーに損傷を与えたり、曲げないでください。また、圧力をかけないでください。

プレート ローラーを清掃する

1. 出力デバイスが現在、メディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンします。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. 前面パネルを開きます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。
4. プレート ローラー (明るい青) を (細かい作業のために用意した) 濡れた布でそっと拭きます。
5. 前面パネルを閉じます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

エア サプライ フィルタの交換

出力デバイスには 2 つのエア フィルタ システムがあります。

- 圧縮エア サプライ フィルタ – 右下のバック パネルの 2 つのフィルタ
- 冷却エア フィルタ システム – ファン ボックス パネルを取り外すことにより、この吸気フィルタにアクセスできる

これらのフィルタを定期的に検査し、交換してください。

フィルタ交換の頻度

フィルタの外観だけでフィルタがきれいであるか、交換が必要であるかを判断しないようにしてください。操作環境に粒子の粗い埃がある場合はまだ交換が必要なくても汚く見え、小さな粒子が空気中にある場合は交換が必要でもきれいに見える場合があります。

エア サプライ フィルタは 6 ヵ月ごとに交換してください。担当のサービス代理店をお持ちのお客様の場合、6 ヶ月のサービス点検の際に認定されたサービス代理店がこの作業を行います。しかし、操作状況がより頻繁なエア サプライ フィルタの交換を必要とする場合、サービス点検の前にメンテナンス手順を実行することを強くお勧めします。

圧縮エア サプライ フィルタ

2 つの圧縮エア サプライ フィルタがあります。

- 5 ミクロン

  このフィルタは白です。

- 0.01 ミクロン (micro-mist)

  このフィルタは黒です。

フィルタは出力デバイスの右下の背面パネルにあります。これらのフィルタは、出力デバイスの空気圧系統に供給されるクリーンでドライな圧縮空気をフィルタリングします。



注意: 圧縮空気をオフにしてから、エア サプライ フィルタを交換してください。

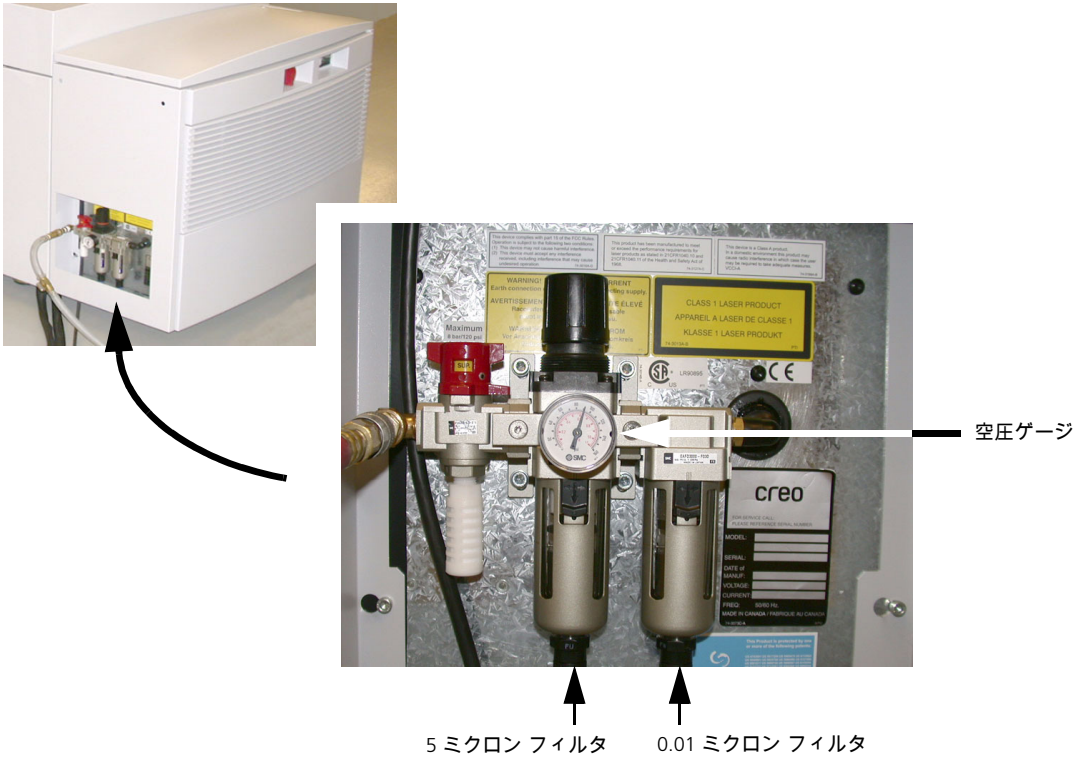


図 17: 圧縮エア サプライ フィルタ システム

圧縮エア サプライ フィルタは、6 ヶ月ごとに交換しないと詰まる可能性があります。詰まったフィルタは、出力デバイスに空圧の問題を生じさせます。フィルタを落としてしまうと、汚れが出力デバイスのエア システムに損傷を与えることがあります。

交換部品

Creo Inc. から圧縮エア サプライ フィルタ システムの交換部品を注文できます。付録 A「部品番号」を参照してください。

警告: 圧縮エア サプライ システムで使用されるフィルタのメーカーからのすべての注意事項を読み、従ってください。そうしないと、怪我をしたり、出力デバイスに損傷を及ぼす可能性があります。

圧縮エア サプライ フィルタの検査

圧縮エア サプライ フィルタは毎週、検査してください。

水または油が付着していないか、フィルタ ボールを検査します。水または油が付着している場合は、認定されたサービス代理店に通知してください。

水または油は、外部の圧縮エア サプライ システムから入ったものです。外部のエア サプライ システムを検査し、修理しておくことが重要で、そうしないと、Trendsetter 400/800 に致命的な損傷を与えてしまう可能性があります。



注意: 出力デバイスから空気圧を抜いてから、エア フィルタを取り外さないと、フィルタリングされていない空気が出力デバイスの敏感な部分に入り込んでしまうことがあります。これは最終的に出力デバイスのパフォーマンスを劣化させ、損傷させてしまいます。また、人体の怪我を起こしたり、出力デバイスを損傷させてしまう可能性もあります。

フィルタを検査する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
1. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

   43 ページの図 18 または 46 ページの図 22 を参照してください。
2. 出力デバイスをシャットダウンする。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. フィルタ ボールに水または油が付着していないか、フィルタ ボールにヒビがはいっていないかをチェックします。



注意: フィルタ ボールに水や油を発見した場合は、直ちに認定されたサービス代理店に通知してください。

5 ミクロン フィルタの交換

5 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

5 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンします。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

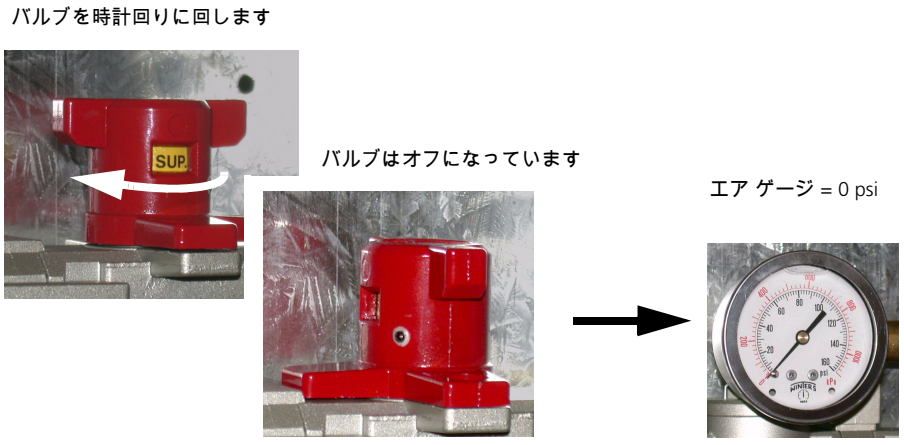


図 18: 圧縮空気の供給をオフにする

注意: 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

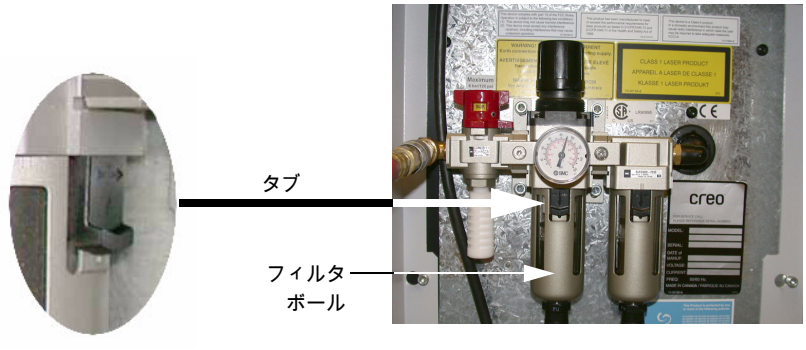


図 19: 黒のタブを引き下げる

5. 黒のプラスチック製のディスクを時計回りに回して、フィルタ アセンブリをゆるめます。
6. 黒のスプールから使用済みの 5 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 20: 5 ミクロン フィルタ

7. 黒のプラスチック製のプラスチック ディスクをフィルタ アセンブリにカチッとするまでねじ止めして、新しい 5 ミクロン フィルタをスプールに装着します。
8. フィルタ ボールの上部のゴム製の O リングを交換します。
9. フィルタ ボールに損傷や劣化がないかどうかチェックします。

   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。

10. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

    フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

11. フィルタ ボールをインストールし直します。

12. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

    0.01 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 12 をスキップして、「0.01 ミクロン フィルタの交換」に進んでください。

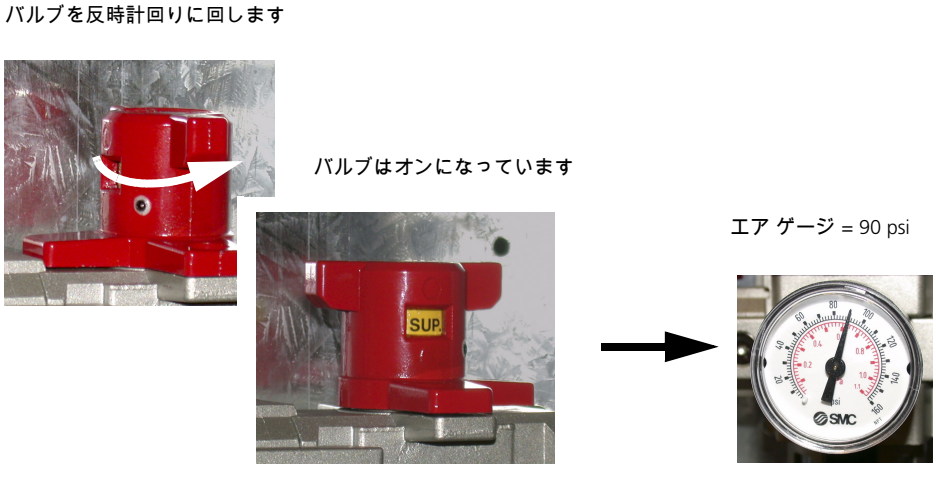


図 21: 圧縮空気の供給をオンにする

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

0.01 ミクロン フィルタの交換

0.01 ミクロン フィルタを 6 ヶ月ごとに交換します。

0.01 ミクロン フィルタを交換する

1. 出力デバイスがメディアのイメージングを行っていないことを確認します。
2. 出力デバイスをシャットダウンします。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。
3. オレンジのエア遮断バルブを時計回りに回して、オフのポジションにし、圧縮空気の供給を遮断します。

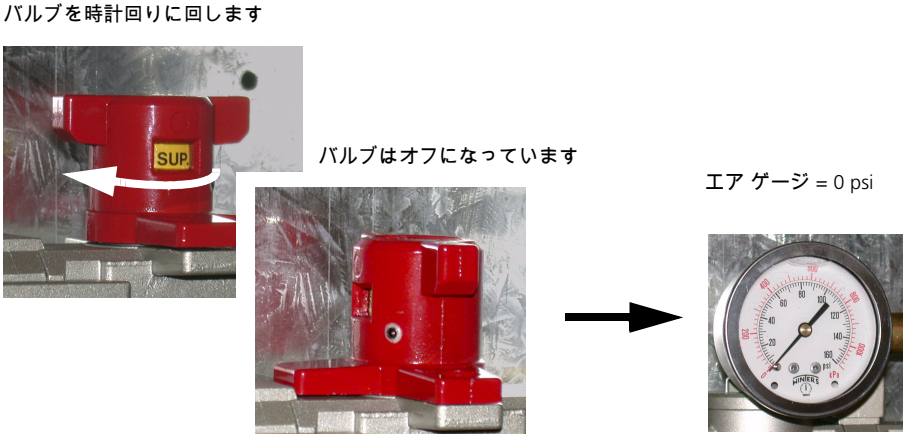


図 22: 圧縮空気の供給をオフにする

注意: 圧縮空気フィルタの交換前に圧縮空気システムをシャットオフしないと、人体に怪我を及ぼしたり、出力デバイスを損傷する可能性があります。

4. フィルタ ボールの前面の黒いタブを下に引いてください。これは、フィルタ ボールのロックを解除します。

   同時に、フィルタ ボールを 4 分の 1 回転 (いずれの方向でも可能) させ、フィルタ ボールを引き下げて取り外します。

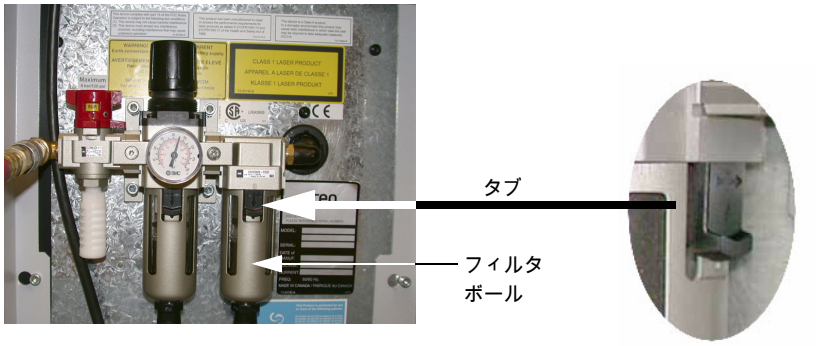


図 23: 黒のタブを引き下げる

5. 使用済みの 0.01 ミクロン フィルタを取り外し、破棄します。



図 24: 0.01 ミクロン フィルタ

6. きつく締め付けられるまでフィルタをねじ留めして、新しい 0.01 ミクロン フィルタを装着します。
7. フィルタ ボールの上部のゴム製の O リングを交換します。
8. フィルタ ボールに損傷や劣化がないかどうかチェックします。

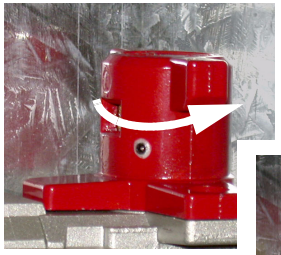
   交換が必要な場合は認定されたサービス代理店に連絡します。

9. フィルタ ボールに水または油がないかどうかチェックします。

   フィルタ ボールに水または油がある場合は、認定されたサービス代理店にエア サプライを検査させてください。

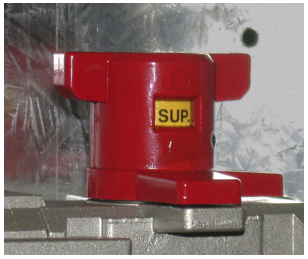
10. フィルタ ボールをインストールし直します。
11. オレンジのエア遮断バルブを反時計回りに回してオンにし、圧縮空気の供給をオンに戻します。

    5 ミクロン フィルタを装着していない場合は、ステップ 11 をスキップして、43 ページの「5 ミクロン フィルタの交換」に進んでください。



バルブを反時計回りに回します

バルブはオンになっています



エア ゲージ = 90 psi

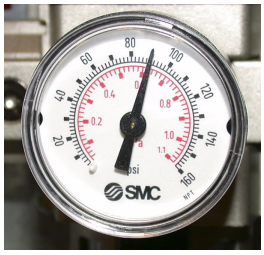


図 25: 空気の供給をオンにする

空気圧ゲージは約 90 psi を示しているはずです。90 psi を示していない場合は、外部空気供給を調整してください。

吸気フィルタ

吸気フィルタはファン ボックス パネル内にあります。フィルタは 6 ヵ月ごとに交換します。汚れた環境では、より頻繁に交換してください。

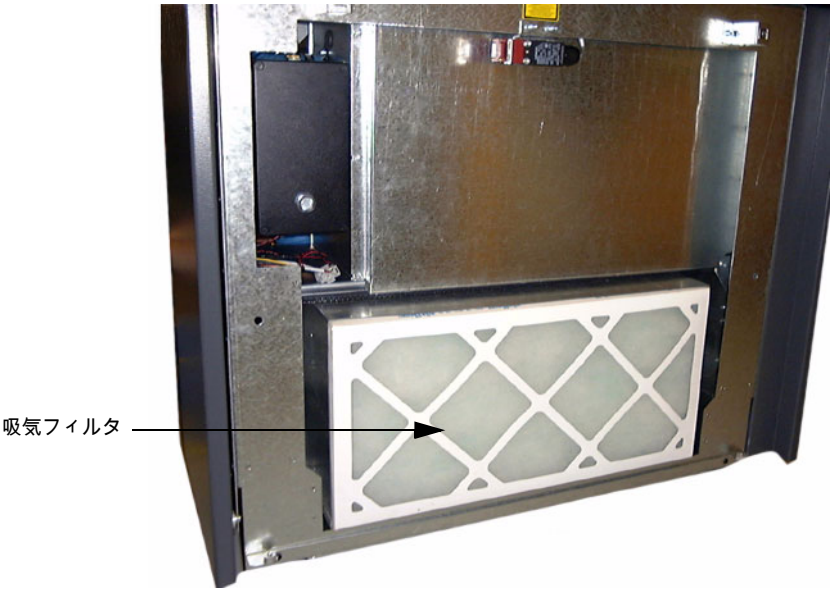


図 26: 吸気フィルタ

交換部品

推奨する吸気フィルタの交換品は Creo, Inc. から注文できます。付録 A「部品番号」を参照してください。

吸気フィルタの交換

吸気フィルタは白で、50.8 mm (2") の厚さです。新しいフィルタを装着するときは、フィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に注意してください。

吸気フィルタを交換する

1. 出力デバイスをシャットダウンします。

   19 ページの「Trendsetter のシャットダウン」を参照してください。

2. ファン ボックス パネルを取り外します。

   34 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

3. フレームから古いフィルタを取り出します。
4. フィルタ フレームを清掃します。

   フレームを掃除機で清掃するか、乾いた布で拭きます。
5. 新しい吸気フィルタをフィルタ フレームに差し込みます。

   新しいフィルタの端の空気流入の方向を示す矢印に従って、フレームにフィルタを配置します。

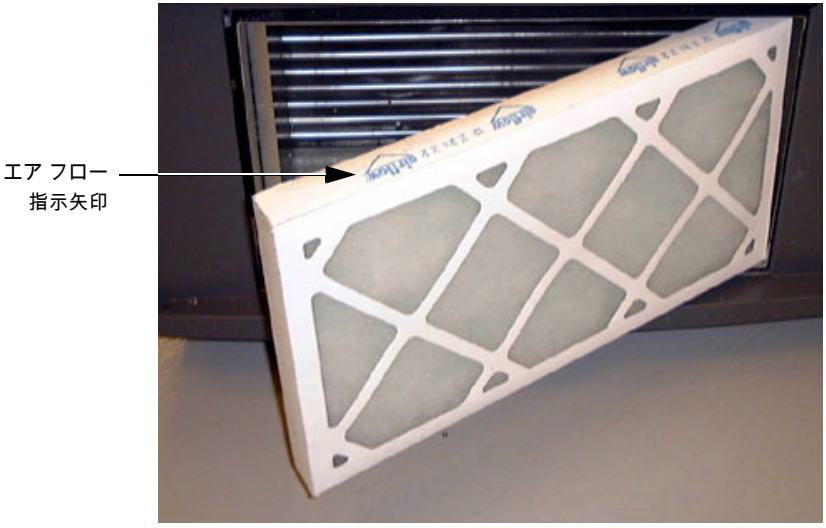


図 27: 吸気フィルタ

6. ファン ボックス パネルを取り付けます。

   34 ページの「ファン ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

汎用塵除去キャビネット フィルタの交換

出力デバイスがオンになっているとき、塵除去システムをチェックして、特定のフィルタの残りの寿命を判断してください。フィルタを交換するときは、Print Console にエラー メッセージが表示されます。フィルタ交換の頻度はメディアのタイプ、メディアの使用量、イメージングの頻度によって決まります。

推奨するフィルタの交換品は Creo, Inc. から注文できます。付録 A「部品番号」を参照してください。

汎用塵除去キャビネット フィルタの交換については、『汎用塵除去キャビネット オペレーター マニュアル』の第 4 章「UDRC-B の設定のメンテナンス」を参照してください。

5 トラブルシューティング

オペレータが回復可能なエラー 54
エラー メッセージと望ましい解決法 58
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット 72
出力デバイスのリセット 72
出力デバイスから詰まったメディアの取り出し 73
イメージ品質上の問題 78
電源の障害 78

オペレータが回復可能なエラー

この章では、Trendsetter 400/800 で起こる可能性のある一般的なエラーや問題について取り上げ、その解決方法について説明します。共通のエラー メッセージおよび望ましい解決法のリストについては、58 ページの「エラー メッセージと望ましい解決法」を参照してください。

出力デバイスが問題を検出すると、次のいずれかを行います。

- 処理を続行する (「警告メッセージ」を参照)

  出力デバイスが介入なしに処理を続行できる場合、問題はワークステーションのメッセージ ログに報告されます。

- 処理を続行する (54 ページの「エラーメッセージ」を参照)

  出力デバイスが停止し、問題は、Print Console の [メッセージ] ペインに報告されます。状況が直ちに介入を必要とする場合、オペレータ インターフェイスのエラー ライトが点滅します。

  出力デバイスが回復し、イメージングを続行するには、操作を中断したエラーで介入が必要になります。

警告メッセージ

警告メッセージは潜在的に問題を生じさせる状況を警告するものですが、イメージ処理を停止することはありません。たとえば、塵除去ユニットで特定のフィルタがほぼいっぱいであることを確認した場合、交換フィルタを用意するように、Print Console に警告メッセージが表示されます。

一般的に、警告メッセージは Print Console に表示されません。代わりに、履歴レコードの一部として [History (履歴)] ペインに直接進みます。しかし、一部の警告メッセージは、[履歴] ペインに進む前の短い時間、[Message (メッセージ)] ペインに表示されることがあります。

エラーメッセージ

システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console の [Message (メッセージ)] ペインに表示され、システムがシャットダウンします。出力デバイスがエラーが発見されたときにすでにプロってリングを開始している場合、部分的に露出されたメディアが排出されます。

エラー メッセージの例は、次のとおりです。

`MPC: Media not on registration pin` (メディアが見当ピン上にありません)

出力デバイスでイメージングを続行する前にエラーを修正しなければなりません。

エラー メッセージが修正された後で、[History (履歴)] ペインにコピーされます。

中断条件

中断条件は、出力デバイスの操作を妨げます。中断条件は、メディアが整列されていなかったり、ドラムで詰まっている場合など、エラーまたは問題がシステムにあるときに発生します。

中断条件の例

エラー メッセージ	オペレータの考えられる措置
MDH: Media released, remove media and use RESUME to continue (メディアがリリースされ、メディアを取り外し、続行するために RESUME を使用してください) [Error #: 40229	出力デバイスは、[Release (リリース)] ボタンをクリックした後でメディアをリリースしました。 エラーを修正する方法: 1. メディアを出力デバイスから取り外します。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。

中断条件が発生したとき、

- 出力デバイスが停止します。
- オペレータ インターフェイスのエラー ライトが点滅します。
- Print Console に中断プロンプトが表示されます。

中断条件が発生したときに、Print Console で最大 6 個のオプションが選択可能です。ボタンがグレイ表示になっている場合は、選択できません。

表 6: 中断条件オプション

オプション	結果
Resume (続行)	このボタンをクリックして、操作を再び試みてください。
Release (リリース)	このボタンをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせ、簡単に取り外せるようにすることができます。
Eject (排出)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。
Media Removed (メディア取り外し完了)	メディアを取り外した後でこのボタンをクリックして、手動で介入して問題を修正することを示します。たとえば、手動で整列がうまくいっていないメディアを取り除いた場合などです。 重要: [メディア取り外し完了] ボタンをクリックする前に、メディアを取り外す必要があります。
Cancel (キャンセル)	このボタンをクリックして、ジョブをキャンセルします。出力デバイスがプレートをロードする場合、ロードが完了し、メディアがドラムに残されます。 このボタンはアンロード中に使用できず、一般的にアンロードを強制しません。
Leave On (オンのまま)	このオプションはプロッティング エラーを指します。メディアはドラムにロードされ、プロッティング エラーが発生します。このボタンをクリックしてエラーを修正し、続行します。通常は、ジョブを再送信する必要があります。

中断条件からの回復

ほとんどの場合、中断条件からの回復は、次の手順をお勧めします。

1. Print Console の中断プロンプトの [Resume (続行)] ボタンが選択可能な場合、それをクリックし、最後の手順をもう一度実行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 2 に進みます。

2. [Leave On (オンのまま)] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 3 に進みます。

3. [Eject (排出)] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 4 に進みます。

4. [Cancel (キャンセル)] ボタンが選択可能な場合、それをクリックしてジョブをキャンセルし、メディアをドラムに残します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 5 に進みます。

5. [Release (リリース)] ボタンが選択可能な場合、

   a. それをクリックして、出力デバイスにメディアをリリースさせます。

   b. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。

   c. [Resume (続行)] ボタンまたは [Media Removed (メディア取り出し完了)] ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 6 に進みます。

6. [Media Removed (メディア取り出し完了)] ボタンが選択可能な場合、

   a. 手動でメディアを出力デバイスから取り外します。

   b. [Resume (続行)] ボタンまたは [Media Removed (メディア取り出し完了)] ボタンをクリックして続行します。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 7 に進みます。

7. Print Console の出力デバイスをリセットします。詳細な手順については、Print Console オンライン ヘルプを参照してください。

   出力デバイスが通常の操作に戻らない場合は、ステップ 8 に進みます。

8. Print Console の終了します。

9. 出力デバイスをシャットダウンします。

10. 出力デバイスを始動します。



重要: 問題が引き続き存在する場合は、Creo Response Center にお問い合わせください。

エラー メッセージと望ましい解決法

このセクションは、Trendsetter 400/800 でエラーまたは問題が起きたときに、Print Console に表示されるほとんどのエラー メッセージを取り上げます。



重要: 特定のエラー メッセージの説明の望ましい解決法が見つからない場合は、56 ページの中断条件の解決手順を試してください。それがうまくいかない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

問題を自分自身で解決する場合でも、認定されたサービス代理店に繰り返し起こるエラーについては報告してください。サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) を報告していただけると、サービス代理店が問題を解決する上で役立ちます。



重要: アクセス パネルを開くことは避けられませんが、埃の蓄積を敏感なコンポーネントの中や周囲から減らすために、最小限にとどめてください。



備考: Trendsetter 400/800 出力デバイスは再始動にしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。出力デバイスがウォームアップ中は、メディアをイメージングできません。イメージングのために提出されたファイルは、出力デバイスの準備が完了するまでワークステーションで待機します。

エラーの分類

すべてのエラーにはメッセージ番号 (プロンプト番号とも呼ばれる) があります。これは、昇順にリストされています。

メッセージは、Print Console に接頭辞、たとえば、MPC (Master Plot Console) 付きで表示されます。これらのメッセージを出力デバイスのほかの部品に関する情報をリレイするほかのメッセージと区別するためのものです。例 :

MPC: No valid edge found, check edge detect strip (有効な工ッジが見つかりません、エッジ検出ストリップをチェックしてください)

接頭辞は主に多くの種類のメッセージを整理するための内部ツールとして使用されます。種々のエラー カテゴリーを知っていても、必ずしもエラーを解決できません。

サービス代理店に連絡する際の望ましいオペレータの措置の一部として、エラー番号を報告していただけると、サービスマンが問題を解決する上で役立ちます。

表 7: エラー メッセージの番号順のリスト

番号順のリスト	
エラー メッセージ	望ましいオペレーターの操作
PRD: Emergency Stop switch is on ([Emergency Stop (緊急停止)] スイッチがオンです) [Error #: 35724]	出力デバイスの [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチが間違えて押されています。出力デバイスは [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチがアクティブになっている間、メディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: ➢ [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチをリセットします。 72 ページの「[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット」を参照してください。
PRD: Front panel is open, check front panel (前面パネルが開いています。前面パネルを調べてください) [Error #: 35733]	前面パネルが開いています。出力デバイスは前面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. 前面パネルを閉じます。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD: Back panel not detected, check back panel (背面パネルが見つかりません、背面パネルをチェックしてください) [Error #: 35735]	背面パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスは背面パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. 背面パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト (続)	
PRD: System Pressure Out of Range:(システム圧力が範囲外) Reading(読み取り値)=<Low range limit(最小値範囲制限)>, Low(低)=<High range limit(最大値範囲制限)>, High(高)=<Current value(現在値)> [Error #: 35771]	汚れが出力デバイスのエア サプライ システムに損傷を与えているか、空気の流れが制限されています。 エラーを修正する方法: 1. 出力デバイスのエア サプライ システムをチェックします。 • 出力デバイスに接続されたエア ホースに十分な空圧がかけられていることを確認します。 • 出力デバイスのシステムの空圧ゲージをチェックします。80 ~ 90 psi を示しているはずです。 • 必要に応じて、外部エア供給を調節します。 2. 認定されたサービス代理店に直ちにエラーの報告をしてください。
PRD: Top panels not detected, check top panels (トップ パネルが見つかりません。トップ パネルをチェックしてください) [Error #: 35773]	トップパネルが開いているか、出力デバイスから取り外されています。出力デバイスはトップ パネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. トップ パネルが所定の位置にあることを確認してください。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト (続)	
PRD: Fanbox panel is not detected, check fanbox panel（ファンボックス パネルが見つかりません､ファンボックス パネルをチェックしてください） [Error #: 35775]	ファン ボックス パネルが出力デバイスから取り外されています。出力デバイスはファン ボックスパネルが開いている間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. ファン ボックス パネルを取り付けます。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
PRD: Front panel is unlocked（前面パネルのロックが解除されています） [Error #: 35786]	前面パネルが正しくロックされていません。出力デバイスは前面パネルがロックされていない間はメディアをイメージングできません。 エラーを修正する方法: 1. Print Console で、[Device (デバイス)]メニューから [Unlock Front Panel (前面パネルのロック解除)] を選択します。 2. 前面パネルを開き、それを閉じます。 3. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト (続)	
THERMAL: TH2 error 01307, Focus:(TH2 エラー 01307、フォーカス) Timeout waiting for focus OK（フォーカス OK 待ちのタイムアウト） または THERMAL: TH2 error 03529, System:(TH2 エラー 03529、システム) Failure of the focus learn（フォーカスの学習失敗） [Error #: 37240]	プレートに傷があるか、間違ってロードされているため、レーザーが正しくフォーカスできません。 エラーを修正する方法: 1. [Eject（排出）] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、プレートをアンロードします。 2. 新しいプレートをロードし、ジョブを再送信します。 3. エラーがもう一度起きた場合は、システムをシャットダウンし、再開します。 4. 出力デバイスがエラーから回復したら、認定されたサービス代理店に連絡してそれを報告してください。
THERMAL: Focus error detected at xx mm from HOME tab while imaging, check plate for artifacts（イメージング中に HOME タブから xx mm の場所でフォーカス エラーが検出されました、プレートに人工物がないかどうかチェックしてください） [Error #: 37464]	このエラーは、次のような原因で発生する可能性があります。 • メディアに傷がある • メディアが正しくロードされていない • メディアの端からイメージがはみ出している（イメージ幅がメディアよりも広い） エラーを修正する方法: 1. メディアにイメージの人工物がないかどうか検査します。 2. 正しいサイズの新しいメディアをロードし、ジョブを再送信します。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。

番号順のリスト (続)	
MPC: Could not find edge of media after xx attempts（xx 回、試みた後でメディアのエッジを見つけることができませんでした） [Error #: 38108]	エラーを修正する方法: 1. メディアがイメージされる側 (エマルジョン側) を上に向けてロードされていることを確認します。 2. メディア整列ラベルを使用して、メディアが正しく配置されていることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MPC: No valid edge found, check edge detect strip（有効なエッジが見つかりません、エッジ検出ストリップをチェックしてください） [Error #: 38116]	出力デバイスは、ある程度の確からしさをもって、メディアのエッジを識別できません。エッジ検出ストリップが汚れているか、メディアの種類またはサイズのためです。 エラーを修正する方法: 1. [Eject（排出）] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. エッジの損傷がないか、メディアをチェックします。 3. 損傷がある場合は、別のメディアをロードします。 エラーが再び起きた場合、次のことを行います。 1. 背面パネルを開きます。 2. エッジ検出ストリップを清掃します。 37 ページの「エッジ検出ストリップの清掃」を参照してください。 3. 背面パネルを閉じます。 重要: エッジ検出ストリップを清掃しても有効なエッジが見つからない場合、認定されたサービス代理店にエラーを報告してください。

番号順のリスト (続)	
MPC: Media not on <home/away> registration pin (メディアが home/away 見当ピン上にありません) [Error #: 38132]	メディアが正しい見当ピンの上にありません。 1. [Eject (排出)] ボタンをクリックして、ジョブをキャンセルし、メディアをアンロードします。 2. ロードされているメディアが正しい位置にあることを確認します。 3. ロードされているメディアが正しいサイズであることを確認します。 4. メディアが正しいサイズである場合、もう一度ロードしてみてください。 重要: エラーが引き続き存在する場合は、認定されたサービス代理店に連絡してください。
MPC: Subscan output resolution of <Subscan output resolution> DPI must equal head resolution (サブスキャン出力解像度の DPI がヘッドの解像度と等しくなければなりません。) [Error #: 38136]	使用できない解像度を使用するように出力デバイスを設定しなければなりません。 エラーを修正する方法: • 有効な解像度を使用するように、Print Console を設定してください。
MDH: Media released, remove media and use RESUME to continue (メディアがリリースされ、メディアを取り外し、続行するために RESUME を使用してください) [Error #: 40229]	出力デバイスは、[Release (リリース)] ボタンをクリックした後でメディアをリリースしました。 エラーを修正する方法: 1. メディアを出力デバイスから取り外します。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。

番号順のリスト (続)	
MDH: Roller timeout: (ローラー タイムアウト) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [<I/O name>] [Error #: 40616]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ローラーのコンポーネントの 1 つを移動できません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Media being loaded has been measured to have an unexpected main scan length (ロードされたメディアがロードされたメディアが予期しないメイン スキャン長であると測定されました) [Error #: 40624]	ロード中に出力デバイスがメディア サイズを認識できませんでした。 エラーを修正する方法: 1. メディアがロード テーブルの正しい位置にロードされていることを確認してください。 2. メディア タイプの情報をチェックして、リストされているメディア サイズがロードされたメディア サイズと一致することを確認してください。 3. メディア サイズが一致する場合、 [Suspend (中断)] ダイアログで、[Resume (続行)] ボタンをクリックして、イメージングを続行してください。 または メディア サイズが一致しない場合、 [Cancel (キャンセル)] ボタンをクリックして、必要に応じてメディア サイズを変更してください。 または 別のサイズのメディアを出力デバイスにロードしてください。 または メディアを再ロードしてください。

番号順のリスト (続)	
MDH: Media being loaded has an invalid main scan length (ロードされたメディアのメイン スキャン長が無効です) [Error #: 40625]	出力デバイスがロードしようとしたプレートのサイズが間違っています。出力デバイスがプレートのサイズが間違っていると判断すると、それを排出します。 エラーを修正する方法: 1. 出力デバイスから該当するプレートを取り出します。 2. [Media Removed (メディア取り外し完了)] または [Release (リリース)] ボタンをクリックします。 3. 正しいサイズのプレートをロードします。 4. プレートの寸法がワークステーションで選択した寸法と一致することを確認します。 5. ワークステーションから該当するファイルを再送信します。
MDH: Media being loaded has an invalid sub scan length (ロードされたメディアのサブ スキャン長が無効です) [Error #: 40626]	出力デバイスがロードしようとしたプレートのサイズが間違っています。出力デバイスがプレートのサイズが間違っていると判断すると、それを排出します。 エラーを修正する方法: 1. 出力デバイスから該当するプレートを取り出します。 2. [Media Removed (メディア取り外し完了)] または [Release (リリース)] ボタンをクリックします。 3. 正しいサイズのプレートをロードします。 4. プレートの寸法がワークステーションで選択した寸法と一致することを確認します。 5. ワークステーションから該当するファイルを再送信します。

番号順のリスト (続)	
MDH: Media being loaded has an invalid thickness（ロードされたメディアの厚みが無効です） [Error #: 40627]	メディアの厚みがワークステーション ソフトウェアで指定されたものよりもかなり厚くなっています。2 枚以上のメディアが互いにくっついていることがあります。 エラーを修正する方法: 1. [Media Removed (メディア取り外し完了)] または [Release (リリース)] ボタンをクリックします。 メディアが自動的にアンロードされます。 2. 互いにくっついているメディアを離してください。 3. ジョブを再送信します。
MDH: Media partially loaded on drum, use RELEASE then remove the media（一部がドラムにロードされたメディアについては、RELEASE を使用してメディアを取り出してください） [Error #: 40629]	メディアが部分的にドラムにロードされています。取り出さないと操作を続行できません。 エラーを修正する方法: 1. [Media Removed (メディア取り外し完了)] または [Release (リリース)] ボタンをクリックします。 2. メディアをドラムから取り外します。 73 ページの「出力デバイスから詰まったメディアの取り出し」を参照してください。 3. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。
MDH: Media flyoff detected, please open panel and remove media（メディア フライ オフが検出された場合、パネルを開き、メディアを取り外してください） [Error #: 40631]	エラーを修正する方法: 1. 前面パネルを開きます。 2. メディアをドラムから取り外します。 3. 前面パネルを閉じます。 4. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 5. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 6. ジョブを再送信します。

番号順のリスト (続)	
MDH: Media has invalid main scan length, it is smaller than expected (メディアのメイン スキャン長が無効で、予想よりも小さくなっています) [Error #: 40658]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 エラーを修正する方法: 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[Release (リリース)] ボタンをクリックします。 3. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 4. ジョブを再送信します。
MDH: Media has invalid main scan length, it is smaller than expected (メディアのメイン スキャン長が無効で、予想よりも小さくなっています) [Error #: 40659]	出力デバイスは、間違ったサイズのメディアをロードしようとし、その後メディアを排出しました。 エラーを修正する方法: 1. 排出されたメディアを出力デバイスから取り除きます。 2. [Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタンをクリックします。メディアが排出されていない場合は、[Release (リリース)] ボタンをクリックします。 3. Print Console で選択されたメディア サイズがロード中のメディア サイズと一致することを確認してください。 4. ジョブを再送信します。

番号順のリスト (続)	
MDH: Leading edge clamp timeout: (先端エッジ クランプのタイムアウト) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [<I/O name>] [Error #: 40663]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、先端エッジ クランプのコンポーネントの 1 つを移動できません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Trailing edge backbone timeout: (後続エッジ バックボーンのタイムアウト) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [I/O name>] [Error #: 40664]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは後続エッジ バックボーンを上下に移動できません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Trailing edge clamp lock/unlock timeout: (後続エッジ クランプ ロック/アンロック タイムアウト) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [I/O name>] [Error #: 40665]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、後続エッジ クランプをロックまたはアンロックできません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。

番号順のリスト (続)	
MDH: Exit door timeout.(出口ドアのタイムアウト。) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [<I/O name>] [Error #: 40666]	タイムアウトが発生しました。出力デバイスで出口ドアを開いたり、閉じることができません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Load ramp timeout: (ロード ランプ タイムアウト) Failed to <Action> sensor. (アクション センサーの失敗。) [<I/O name>] [Error #: 40667]	タイムアウト エラーが発生しました。出力デバイスは、ロード ランプを移動できません。 エラーを修正する方法: • [Resume (続行)] ボタンをクリックします。 または • 出力デバイスをリセットします。 72 ページの「出力デバイスのリセット」を参照してください。
MDH: Please remove media detected on load ramp (ロード ランプで検出されたメディアを取り外してください。) [Error #: 40668]	メディアはロード ランプ上にあります。 エラーを修正する方法: 1. メディアを取り外します。 2. [Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタンをクリックします。
MDH: Media not detected on load ramp (メディアはロード ランプ上で検出されません) [Error #: 40669]	出力デバイスはロード中にメディアを検出できませんでした。 エラーを修正する方法: 1. メディアが正しくロードされていることを確認してください。 2. [Resume (続行)] ボタンをクリックします。

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチのリセット

この [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを間違って押してしまった場合は、出力デバイスを通常の操作に戻す前にそれをリセットしてください。

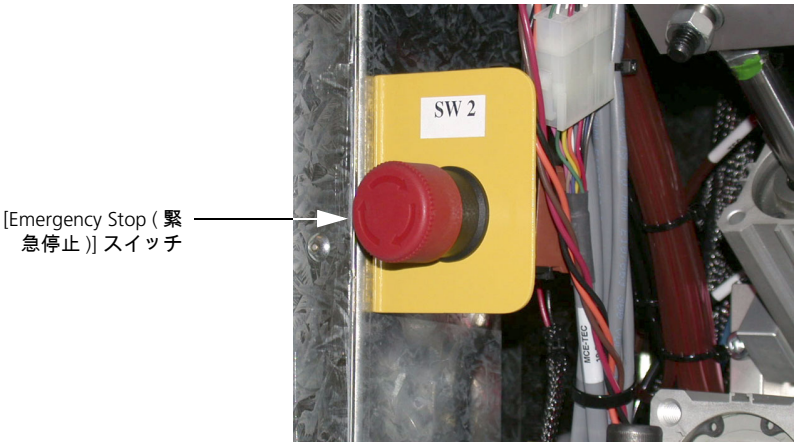


図 28: [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ

[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチをリセットする

➢ [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチを 90º 時計回りに回転します。

出力デバイスのリセット

Print Console の [Device (デバイス)] メニューの [Reset (リセット)] コマンドを使用して、出力デバイスをアイドル状態または準備完了状態にします。

重要: 出力デバイスは再始動またはリセットにしてからウォームアップするのに最大 2 分間かかります。

備考: [Reset (リセット)] コマンドが Print Console で選択できない場合、出力デバイスを約 5 秒間オフにして、またオンに戻します。

出力デバイスをリセットする

➢ Print Console で、[Device (デバイス)] メニューから [Reset (リセット)] を選択します。

出力デバイスは自動的にリセットされます。リセットされない場合は、シャットダウンして、システム全体を再起動します。

出力デバイスから詰まったメディアの取り出し

時々、出力デバイスのエラーでプレートがドラムに詰まることがあります。出力デバイスを通常の操作に戻すには、詰まったプレートを取り除く必要があります。

メディアがドラムにロードされたり、アンロードされるときにエラーが起こると、部分的にロードされたメディアをまず取り除き、後続エッジ クランプをドラムのパーク ポジションに手動で配置することが必要になります。76 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。



注意: ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

次の注意事項に従ってください。

- ペースメーカーを着用しているオペレータは、磁気クランプをペースメーカーから 7 センチ (2.75") 以上離すようにしてください。

  他の心配事がある場合は、医者またはインプラントのメーカーに問い合わせてください。

- 磁気クランプを取り扱うとき、互いに異なる極性を近づけないでください。反対の極性の間に手や指を入れないようにしてください。
- 磁気クランプを取り扱う場合は保護グローブを着用してください。



重要: フロッピー ディスク、磁気ストライプ カード、時計などの磁気データは、協力な磁気の後続エッジクランプから遠ざけておいてください。

ドラムからメディアを取り除く

1. トップ パネルとフロント パネルを開きます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

注意: ほとんどの時間、前面パネルはロックされています。前面パネルを開くときは、このマニュアルの指示に従ってください。過剰な物理的な力をかけると、パネルが損傷します。

2. 保護グローブを着用してください。

   保護グローブは出力デバイスの中をきれいにたもつために、きれいで、糸くずが付いていないものを使用してください。

注意: プレートの端は鋭くなっています。保護グローブを着用しないと、怪我をする可能性があります。

3. メディアが後続エッジ クランプによって保持されている場合、メディアからクランプをスライドさせてはずしてください。そうでない場合は、この手順をスキップします。

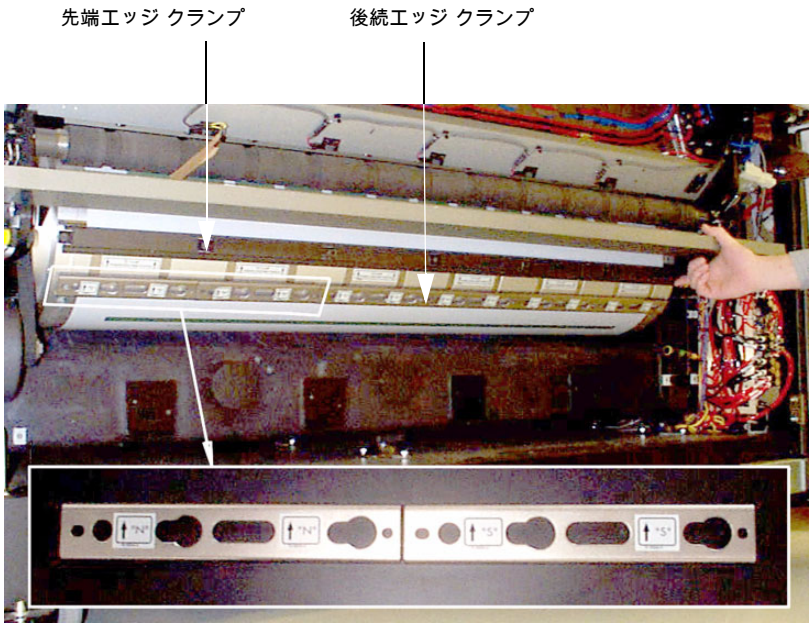


図 29: 後続エッジと先端エッジクランプ

4. ドラムは手で回す一方、先端エッジ クランプに手が届くまで、メディアの後続エッジを出力デバイスの前面にまっすぐと伸ばしてください。
5. メディアの開いている方のコーナーを折りたたみます。
6. メディアのコーナーをつかみ、メディアが先端エッジ クランプからはずれるまでしっかりと手前に引きます。



図 30: コーナーを折りたたんで、メディアをつかむ

7. 塵が残されていないかどうかを検査するには、クランプのエッジを下に押してエッジ クランプを開きます。
8. Print Console で、[Resume (続行)] ボタンをクリックします。

   別のメッセージが表示され、後続エッジ クランプをパーク ポジションにするように指示されます。
9. 後続エッジ クランプを移動します。

   76 ページの「後続エッジ クランプの移動」を参照してください。
10. トップ パネルとフロント パネルを閉じます。

    31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

後続エッジ クランプの移動

次の場合に、出力デバイスの後続エッジ クランプを移動する必要があります。

- ドラムから詰まったメディアを取り除くするために、クランプを移動します。
- クランプは出力 デバイスにより落とされます。
- Print Console に次のエラー メッセージが表示されます。

  `move clamps to park position, then select RESUME`（クランプをパーク ポジションに移動し、`RESUME` を選択してください）

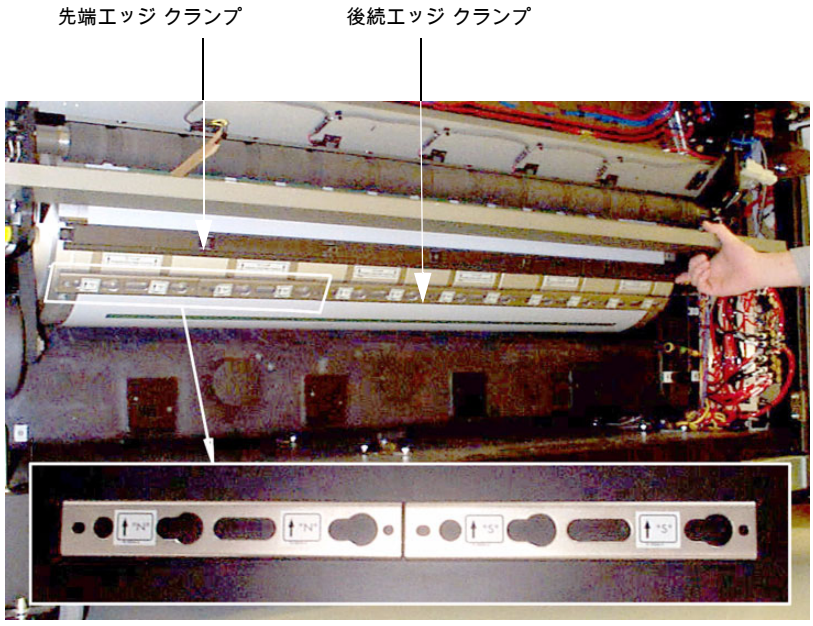


図 31: 後続エッジと先端エッジクランプ

注意: ドラムの後続エッジ クランプの間に指を挟まないようにしてください。

後続エッジ クランプを移動する

1. 前面アクセス パネルを開きます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

2. ドラムにメディアがある場合は、取り除いてください。

   73 ページの「出力デバイスから詰まったメディアの取り出し」を参照してください。

3. ドラムは手で後続エッジ クランプが出力デバイスの前面で見えるようになるまで回転させてください。



注意: ドラムにトレーリング エッジ クランプを配置したり、スライドさせるとき、常にクランプのスチール タブがドラムのスチール ストラップ上で中央揃えされていることを確認してください。クランプ タブは、タブが正しく整列されていない場合に、ドラムの表面を損傷させる場合があります。

4. 先端エッジ クランプに触れるまで、後続エッジ クランプをドラムに沿ってスライドさせてください。

   クランプがドラムから外れた場合、先端エッジ クランプに向かって配置します。

   a. ドラムの **S** または **N** というラベルがついた各クランプに **S** または **N** (磁石の極性) を整列させます。

   b. ドラムの矢印のラベルの方向にクランプの矢印の方向を合わせます。

5. 後続エッジ クランプが均等間隔に並べられていることを確認します。

   後続エッジ クランプの間の隙間と先端エッジ クランプの間の隙間を整列させます。

6. 後続エッジ クランプが直線で、接触する先端エッジ クランプと平行に並べられていることを確認してください。

7. **S** と **N** の間の後続エッジ クランプ ラベルを確認します。

8. トップ パネルとフロント パネルを閉じます。

   31 ページの「前面パネルとトップ パネルの開閉」を参照してください。

9. Print Console で、[Resume (続行)] ボタンをクリックします。

10. 出力デバイスが以下のいずれかのメッセージで再び中断された場合、クランプの整列をチェックし、必要に応じて調節してください。

    `Timeout moving TE cylinder (TE シリンダの移動タイムアウト)`

    `TE failed to lock (TE がロックされていません)`

    `TE clamps not on actuator/drum (TE クランプがアクチュエータ/ドラム上にありません)`

イメージ品質上の問題

イメージ品質上の問題を経験している場合、認定されたサービス代理店に直ちにお問い合わせください。

電源の障害

電源の障害がある場合は、直ちに Trendsetter 400/800 をシャットダウンしてください。

ワークステーションは、無停電電源装置 (UPS) を装備しています。電源障害時にワークステーションが通常の形式でシャットダウンするための時間を与えます。

しかし、出力デバイスはそのような保護はなく、直ちにシャットダウンします。最後の状態を保留し、オフになっている間、何も変わっていない場合、電源を再投入した後にもう一度回復を試みてください。

自動的な回復が可能でない場合もあります。たとえば、メディアがドラム上に部分的に存在するときに電源が落ちた場合などです。この場合、Print Console にメッセージが表示されるので、メディアを取り出してください。73 ページの「出力デバイスから詰まったメディアの取り出し」を参照してください。

電源障害が起きた場合、19 ページの図 7 に示されているように、電源スイッチを使用して出力デバイスをオフにします。電源が回復されると、出力デバイスを再びオンにできます。

トリップされた回路ブレーカー

電源障害が起こると、電源がオンに戻らない場合、出力デバイスが回路ブレーカーをトリップしている可能性があります。回路ブレーカー スイッチを押して、手動でリセットできます。

回路ブレーカー スイッチは、電源ボックス パネルの後ろにあります。パネルを取り外すとき、ブレーカーは電源スイッチの上にあります。

トリップされた回路をリセットする

1. 出力デバイスをシャットダウンします。
2. 電源ボックス パネルを取り外します。

   36 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

3. 回路ブレーカー スイッチをリセットします。



図 32: 回路ブレーカー スイッチ

4. 電源ボックス パネルを取り付けます。

   36 ページの「電源ボックス パネルの取り外しと取り付け」を参照してください。

5. 出力デバイスを再始動します。

   18 ページの「Trendsetter の開始」を参照してください。電源が正しく始動しない場合、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

出力デバイスの空圧の損失

圧縮空気は外部圧縮コンプレッサから出力デバイスに供給されます。電源の損失がまたエア コンプレッサーに影響を与える場合、出力デバイス内の空圧ゆっくりと失われます。空圧が通常に戻らない場合は、認定されたサービス代理店にお問い合わせください。

A

部品番号

部品リスト 82

部品リスト

説明	Creo 部品番号
エア サプライ フィルタ キット	332-00003
フィルタ ボール/ガード	55-1216
吸気フィルタ [24" x 12" x 2"]	55-0700
Kimberly Clark 製 Kimwipes EX-L (Wipers) [15" x 17" サイズ]	Creo は Kimwipes を販売しません。
UDRC-B の粒子フィルタ	57-8792
粒子フィルタ スペーサー	57-8697

B

ラベル

概要 84
ID と認証ラベル 85
レーザーの安全性ラベル 90
一般的な安全性ラベル 94

概要

この付録では出力デバイスのラベルに関する情報を示します。これらのラベルは、出力デバイスを安全に操作するためのものです。この付録に記載されているすべてのラベルは、オペレータが触れることができ、ほとんどが出力アクセス パネルの内側にあります (全体的なインターロック式保護筐体の中)。

項目	参照先
ID ラベル	86 ページ
クラス 1 レーザー製品ラベル	87 ページ
CDRH 認証ラベル	87 ページ
CE ラベル	88 ページ
CSA ラベル	88 ページ
FCC 認証ラベル	88 ページ
C-Tick ラベル	89 ページ
露出ヘッド アパチュア ラベル	91 ページ
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル	91 ページ
非インターロック式パネル危険ラベル	92 ページ
ドア インターロック危険ラベル	93 ページ
高圧漏れ電流ラベル	94 ページ
安全性インターロック オーバーライド ラベル	95 ページ
危険電圧ラベル	96 ページ
過熱表面注意ラベル	96 ページ
手を触れないでください警告ラベル	97 ページ
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル	97 ページ
ソレノイド ロック ラベル	98 ページ
ヒューズ交換ラベル	98 ページ

ID と認証ラベル

これらのラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

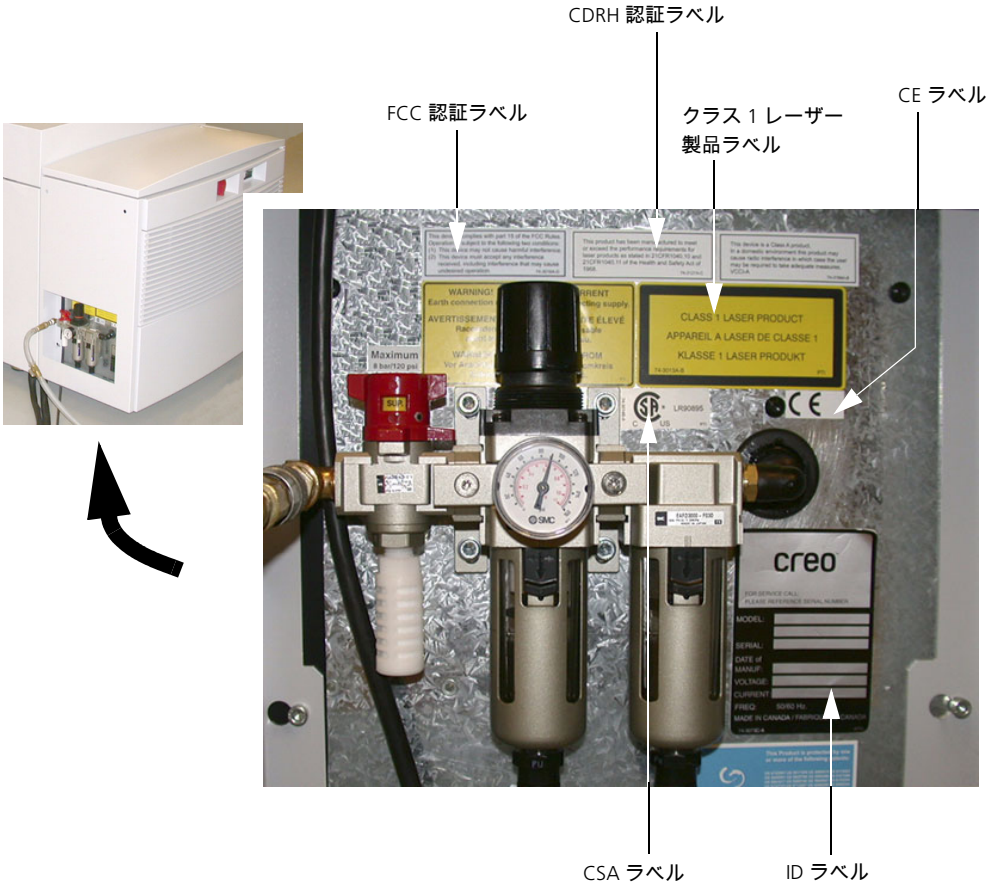


図 33: ID と認証ラベル

ID ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

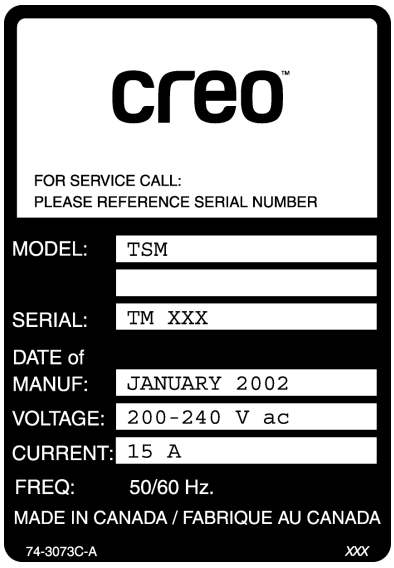


図 34: ID ラベル

上記のラベルの翻訳:

サービス連絡先 _____

シリアル番号を参照してください

モデル: TSM

製造日: <月> <年>

電圧: 200-240 V ac

電流: 15 A

頻度: 50/60 Hz

カナダ製

クラス 1 レーザー製品ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 35: クラス 1 レーザー製品ラベル

上記のラベルの翻訳:

CLASS 1 LASER PRODUCT

CDRH 認証ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

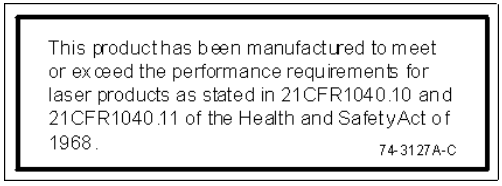


図 36: CDRH 認証ラベル

上記のラベルの翻訳:

本製品は、Health and Safety Act of 1968 の 21CFR1040.10 と 21CFR1040.11 に規定されたレーザー製品のパフォーマンス要件を満たすか、それを超えるように製造されています。

CE ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 37: CE ラベル

CSA ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。



図 38: CSA ラベル

FCC 認証ラベル

このラベルは、85 ページの図 33 に示されるように、右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

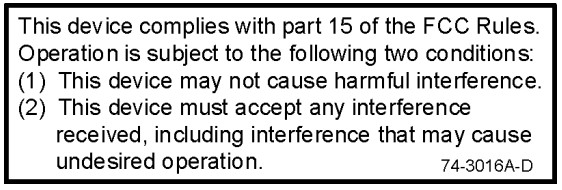


図 39: FCC 認証ラベル

上記のラベルの翻訳:

このデバイスは、FCC 規則の第 15 部を遵守しています。操作は、以下の 2 つの条件を前提としています。

(1) このデバイスが危険な妨害を及ぼさない。

(2) このデバイスは、望ましくない動作を生じさせる可能性のある妨害を含む妨害を受け付けなければならない。

C-Tick ラベル

このラベルは、ACA (Australian Communications Authority) の認証を示します。このラベルは、図 33 には示されていませんが、右下背面パネルの エア サプライ フィルタの脇にあります。



図 40: C-Tick ラベル

レーザーの安全性ラベル

露出ヘッドにあるレーザー安全性ラベル:

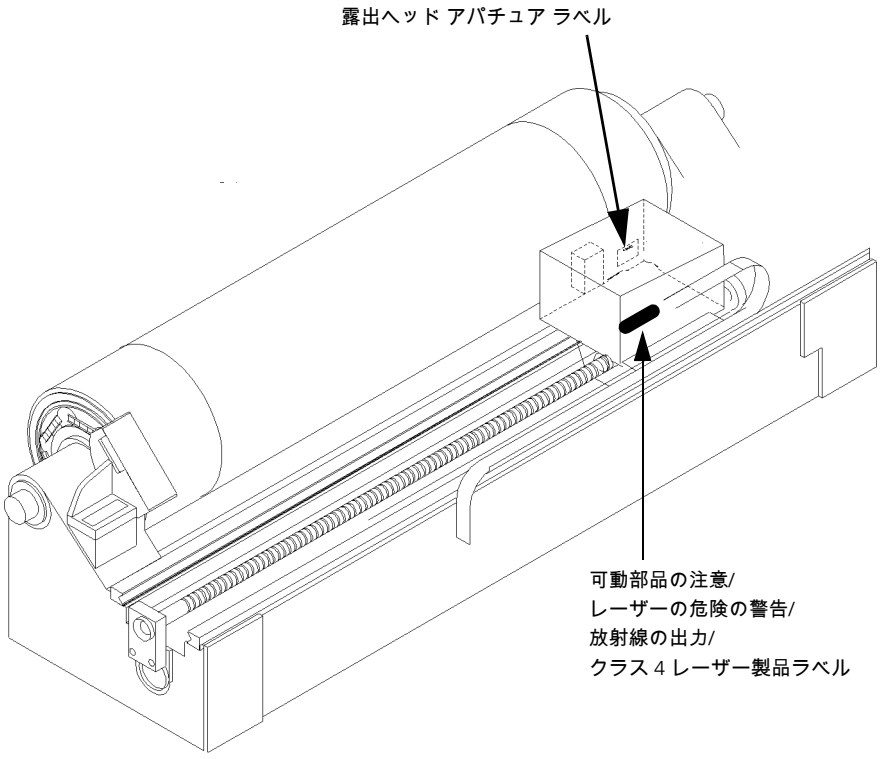


図 41: 露出ヘッド レーザー安全性ラベル

露出ヘッド アパチュア ラベル

このラベルはシャッターとアパチュアの隣にある露出ヘッド保護筐体の前面にあります。場所を示す図については、90 ページの図 41 を参照してください。



図 42: 露出ヘッド アパチュア ラベル

上記のラベルの翻訳:

露出を避けてください。目に見える、あるいは目に見えないレーザー光線がこの装置から放出されています。

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル

可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品安全性ラベルは、露出ヘッド保護筐体の背面にあります。場所を示す図については、90 ページの図 41 を参照してください。

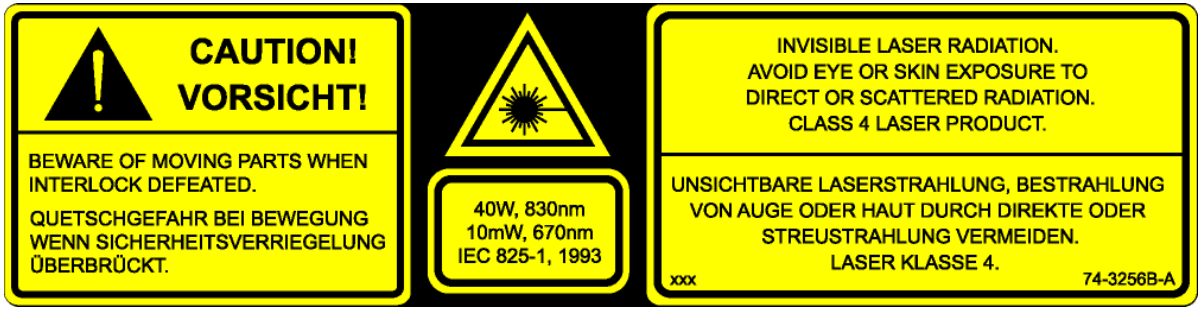


図 43: 可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル

上記のラベルの翻訳:

注意! インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

目に見えないレーザーが放射されています。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。クラス 4 レーザー製品。

非インターロック式パネル危険ラベル

このラベルは、以下の 4 箇所にあります。

- 上部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下。
- 下部サービス アクセス パネルの両端で、アンロード テーブルの下。

危険: サービス アクセス パネルは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。許可のないパネルの取り外しを行うと、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。



図 44: 非インターロック式パネル危険ラベル

上記のラベルの翻訳:

危険! 開いたときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

ドア インターロック危険ラベル

これらのラベルは、インターロック式保護筐体の中の安全インターロック スイッチの脇にあります。



図 45: ドア インターロック危険ラベル

上記のラベルの翻訳:

危険! 開いていて、インターロックが壊れているときに目に見える、または目に見えないレーザー放射線が放出されます。直接または分散放射線に目や皮膚をさらさないでください。

危険: インターロック システムを妨害することにより、可視または不可視の高電圧レーザー放射線、電気的ショック、および可動機械部品による深刻な人体への怪我を及ぼす可能性があります。アクセス パネルが開いたまま出力デバイスを操作しようとしないでください。また、出力デバイスがメディアをイメージングしている間に、アクセス パネルを開いたり、取り外したりしないでください。

一般的な安全性ラベル

高圧漏れ電流ラベル

このラベルは右下背面パネルのエア サプライ フィルタの脇にあります。

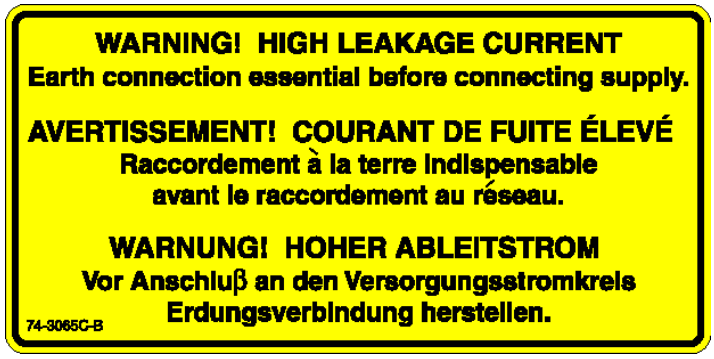


図 46: 高圧漏れ電流ラベル

上記のラベルの翻訳:

警告! 高圧漏れ電流

電源に接続する前にアース接地することが重要です。

安全性インターロック オーバーライド ラベル

このラベルは、電源ボックスパネルのサービス キー スイッチの脇にあります。

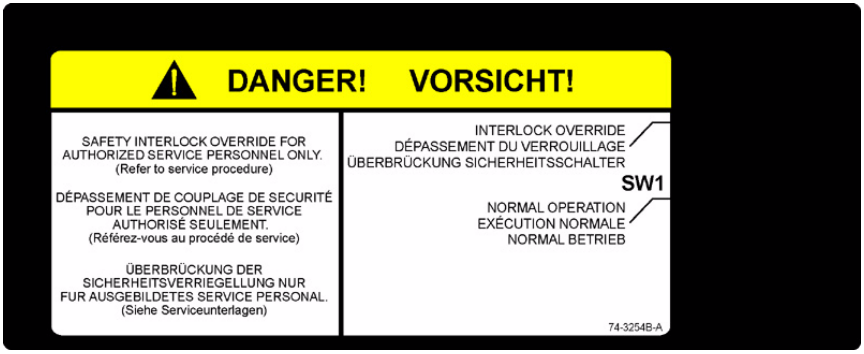


図 47: 安全性インターロック オーバーライド ラベル

上記のラベルの翻訳:

危険!

認定されたサービスマンのみが安全性インターロックをオーバーライドできます。(サービス手順を参照。)

インターロック オーバーライド _____

通常操作 _____

危険: サービス キー スイッチは、認定されたサービス代理店のみが使用できます。許可のなく使用すると、高電力レーザー放射線、可動機械部品または電気的なショックの危険にさらされる可能性があり、結果として不快感、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

危険電圧ラベル

このラベルは、ファン ボックスのジャンクション ボックス サービス アクセス カバー上に貼られています。

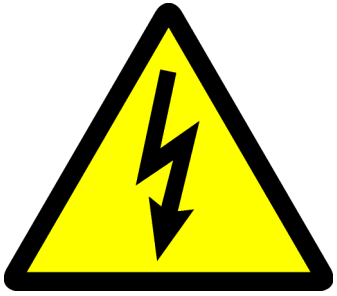


図 48: 危険電圧ラベル



危険: ジャンクション ボックス サービス アクセス カバーは、認定されたサービス代理店によってのみ取り外すことができます。このラベルが貼られているカバーを取り外さないでください。この領域には高圧電流部品が含まれているため、伝記ショックなど、不快、疾病、怪我、身体的障害を及ぼす可能性があります。

過熱表面注意ラベル

このラベルは、ファン ボックス パネル内部の熱交換循環ポンプ上に貼られています。



図 49: 過熱表面注意ラベル

手を触れないでください警告ラベル

このラベルは先端エッジ アクチュエーターの中央、前面パネルの後ろにあります。

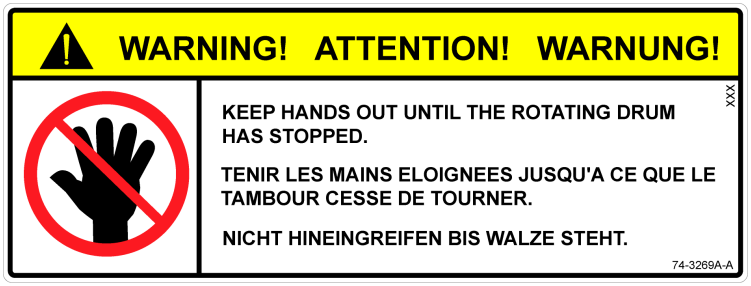


図 50: 手を触れないでください警告ラベル

上記のラベルの翻訳:

警告! 回転ドラムが停止するまで、手を触れないでください。

インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

このラベルは先端エッジ アクチュエーターの両端の前面パネルの後ろにあります。



図 51: インターロック故障時に可動部品に注意ラベル

上記のラベルの翻訳:

注意! インターロックが壊れている場合は、可動部品に注意してください。

ソレノイド ロック ラベル

このラベルは前面パネルの各ラッチの脇にあります。

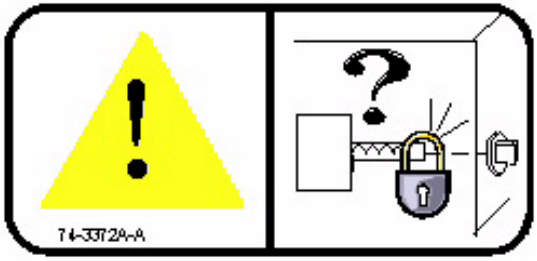


図 52: ソレノイド ロック ラベル

ヒューズ交換ラベル

このラベルは、サービス アクセス パネルの下で、左下の電源ボックス パネルの中にあります。

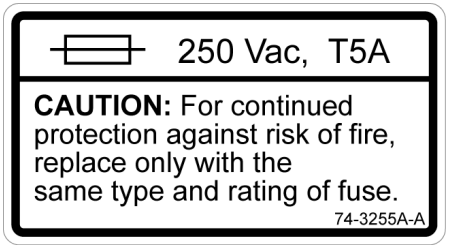


図 53: ヒューズ交換ラベル

上記のラベルの翻訳:

注意: 継続的な防火のために、同じ種類で定格のヒューズとのみ交換してください。

C

法律上の遵守事項

電気的および機械的な安全性 100
レーザーの安全性 102
EMI/EMC の遵守 102
ノイズの放出 103

電気的および機械的な安全性

Trendsetter 400/800 は、電気的および機械的な安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

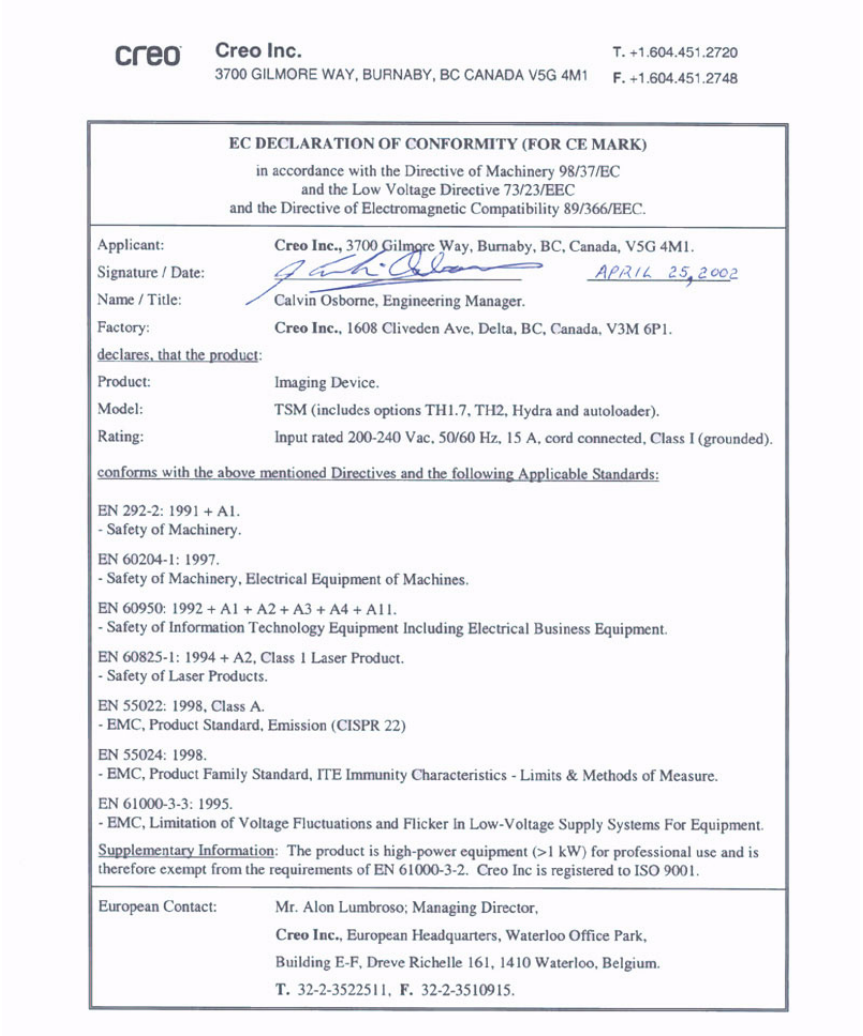
- CSA 950 Safety of Information Technology Equipment
- UL 1950 Safety of Information Technology Equipment
- EN 60950、Safety of Information Technology Equipment
- EN 60204-1、Safety of Machinery

出力デバイスの CSA ラベルは、CSA 950 および UL 1950 標準の遵守を示しています。出力デバイスの CE ラベルは次の通達の遵守を示しています。

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- Directive of Machinery 98/37/EC
- Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC

これらのラベルについては、付録 A「部品番号」を参照してください。

遵守の EC 宣言



creo Creo Inc.
3700 GILMORE WAY, BURNABY, BC CANADA V5G 4M1
T. +1.604.451.2720
F. +1.604.451.2748

EC DECLARATION OF CONFORMITY (FOR CE MARK)

in accordance with the Directive of Machinery 98/37/EC
and the Low Voltage Directive 73/23/EEC
and the Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC.

Applicant:	**Creo Inc.**, 3700 Gilmore Way, Burnaby, BC, Canada, V5G 4M1.
Signature / Date:	APRIL 25, 2002
Name / Title:	Calvin Osborne, Engineering Manager.
Factory:	**Creo Inc.**, 1608 Cliveden Ave, Delta, BC, Canada, V3M 6P1.

declares, that the product:

Product:	Imaging Device.
Model:	TSM (includes options TH1.7, TH2, Hydra and autoloader).
Rating:	Input rated 200-240 Vac, 50/60 Hz, 15 A, cord connected, Class I (grounded).

conforms with the above mentioned Directives and the following Applicable Standards:

EN 292-2: 1991 + A1.
- Safety of Machinery.

EN 60204-1: 1997.
- Safety of Machinery, Electrical Equipment of Machines.

EN 60950: 1992 + A1 + A2 + A3 + A4 + A11.
- Safety of Information Technology Equipment Including Electrical Business Equipment.

EN 60825-1: 1994 + A2, Class 1 Laser Product.
- Safety of Laser Products.

EN 55022: 1998, Class A.
- EMC, Product Standard, Emission (CISPR 22)

EN 55024: 1998.
- EMC, Product Family Standard, ITE Immunity Characteristics - Limits & Methods of Measure.

EN 61000-3-3: 1995.
- EMC, Limitation of Voltage Fluctuations and Flicker In Low-Voltage Supply Systems For Equipment.

Supplementary Information: The product is high-power equipment (>1 kW) for professional use and is therefore exempt from the requirements of EN 61000-3-2. Creo Inc is registered to ISO 9001.

European Contact: Mr. Alon Lumbroso; Managing Director,
Creo Inc., European Headquarters, Waterloo Office Park,
Building E-F, Dreve Richelle 161, 1410 Waterloo, Belgium.
T. 32-2-3522511, **F.** 32-2-3510915.

図 54: 遵守の EC 宣言

レーザーの安全性

Trendsetter 400/800 は、次のレーザー光線の安全基準に従って設計、テスト、および評価されました。

- 米国食品薬品局の CDRH (Center of Devices and Radiological Health) の規則に従った米国連邦規則 21 CFR 1040 10
- EN 60825-1、Safety of Laser Products

出力ラベルの Class 1 Laser Product ラベルは、これらの標準の遵守を示します。このラベルの説明については、付録 A「部品番号」を参照してください。



警告: コントロールや調整を使用したり、このマニュアルで指定されている以外の手順を実行すると、危険な放射線にさらされる可能性があります。

EMI/EMC の遵守

Trendsetter 400/800 は、FCC 規則の第 15 部に従ってクラス A デジタル装置に関する制限に遵守していることをテストし、確認しています。これらの制限は、出力デバイスが商用環境で操作されるときの危険な妨害からの正当な保護を行うように設計されています。

この機器は無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射する可能性があり、このマニュアルに従って設置および使用されない場合は、無線通信を妨害する可能性があります。住宅地域における出力デバイスの操作は危険な妨害を生じさせることがあります。これらの妨害については、使用者の費用負担で修正する必要があります。

出力デバイスの FCC 認証ラベルは、これらの制限の遵守を示します。このラベルの例については、付録 A「部品番号」を参照してください。

Trendsetter 400/800は、Directive of Electromagnetic Compatibility 89/366/EEC に遵守していることをテストし、確認しています。これは、EMC 標準を遵守しています。

- EN 55022、クラスA
- EN 55024
- EN 61000-3-3

ノイズの放出

Trendsetter 400/800 は、オフィス環境に許可された最大ノイズ放出制限である 70 dB(A) を遵守するように設計、テスト、および評価されています。Trendsetter 400/800 からのノイズ放出は、自由な領域で 1 メートルの地点で 69 dB(A) を超えることはありません。

用語集

CMYK	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック。プロセス カラーを作成するための印刷用のカラー。
GATF	Graphic Arts Technical Foundation。
PDF	Portable Document Format。Adobe System の PDF は、ページの線画、イメージ、およびテキスト (必要なフォントすべてを含む) を保存するための確実なファイル形式です。
PostScript	Postscript インタープリタを装備したデバイスに出力するために、種類とビジュアルな要素を記述するために使用される Adobe Systems が開発したページ記述言語。
PostScript ファイル	ネイティブのアプリケーション ファイルから作成されたページ記述言語で書かれたファイル。
PPD	Postscript プリンタ記述ファイル。特定の Postscript 出力デバイスに関連付けられたパラメータとオプションに関する情報を含むコンピュータ ファイル。
Print Console	イメージングのために、出力デバイスにファイルを送信するデバイス コントロール ソフトウェア。Print Console は PostScript ファイルのラスター化されたイメージを作成します。つまり、PostScript Level 3 ソフトウェアRIP (raster image processor) です。ソフトウェア RIPs PostScript ファイルは、メディアに露光させるイメージを作成します。
RGB	カラーを表示するためにコンピュータ モニタで使用される赤、緑、および青のカラー モデル。
RIP	Raster Image Processor。イメージングのために出力デバイスに送信される Postscript ファイルからのビットマップ イメージを作成します。
SCSI	Small Computer System Interface。このタイプの接続は、ワークステーションから出力デバイスにイメージ データを送信するときに使用します。
SWOP	Web オフセット出版の仕様。
UDRC	「汎用塵除去キャビネット」を参照してください。
UGRA	Swiss Association for the Promotion of Research。
UPS	無停電電源。電源障害時にワークステーションに一時的に電源を供給するために使用されるデバイス。

イメージ	印刷メディアにプロットされる電子ビットマップ。出力デバイスはワークステーションからイメージを受け取り、露出した未現像のメディアを作成します。
イメージング ヘッド	「露出ヘッド」を参照してください。
エラー メッセージ	システム操作のエラーが起きたとき、エラー メッセージが Print Console に表示され、システムがシャットダウンします。通常操作を続行する前にこの問題を解決する必要があります。
解像度	イメージが再生される詳細の度合い、通常は 1 インチあたりのドット数 (dpi) または 1 インチあたりのライン数 (lpi) で示されます。解像度が高いほど、イメージの再生が詳細になります。
見当	印刷されたプレートを作成するための別のメディアの整列。
出力デバイス	Creo イメージング システムの一部であるプレートセッター、プルーフセッター、またはフィルムセッター。
処理量	イメージが解読され、作成される効率。
スポット カラー	特別なインクを必要とするカラー。つまりプロセス カラーを使用して作成できないインク。
送信	イメージングのキューにファイルを入れるプロセス。
中断条件	現在のオペレーションの続行を妨げる出力デバイスの条件。
デンシトメーター	フィルム用紙により伝送または反射される光の量を感知する装置。出力の精度、品質、および一貫性をチェックするために使用されます。
特殊なカラー	「スポット カラー」を参照してください。
ドット ゲイン	印刷において、実際のドットの大きさよりも大きく印刷される障害で、トーンが暗くなり、カラーがより強くなります。
ドラム	出力デバイスの中のデバイスで、レーザーによりイメージングするためにメディアをマウントするもの。
ネイティブ アプリケーション ファイル	QuarkXPress® などのページ レイアウト アプリケーションを使用して作成されたジョブのファイル。
汎用塵除去キャビネット	汎用塵除去キャビネットは、塵除去システムの主要コンポーネントです。フィルタ コンパートメント、プラスチック容器、フィルタ、ブローワー、電気コントロールから成り立っています。
ファイル	1 つまたは複数のイメージの電子テキスト記述。PostScript 言語を使用します。このとき、Print Console は複数の PostScript showpage オペレータを含むファイルをサポートしません。

フィルム	イメージを露出するセルロース製のメディア。Trendsetter 400/800 は、1 つのイメージごとに 1 枚の露光フィルムを作成します。「メディア」も参照してください。
プレート	イメージを露出する金属製のメディア。Trendsetter 400/800 は、1 つのイメージごとに 1 枚の露光プレートを作成します。「メディア」も参照してください。
プレート プロセッサ	プレートを現像するために、Trendsetter 400/800 で使用される機器。デベロッパとも呼ばれます。
プロセス カラー	「CMYK」を参照してください。
プロンプト番号	ワークステーション メッセージ、一般的にはエラー メッセージ、を識別するエラー番号です。
ページ設定	ワークステーション ソフトウェアで、解像度と方向を含むページの仕様の集合。
メディア	イメージがプロットされる物理的な材料であるプレートまたはフィルム。
メディア整列ラベル	メディアの正しい配置に使用されるテープ マーク。
メディアの種類	特定のタイプのプレートまたはフィルムを指します。メディアの種類は通常、Creo サービス代理店により出力デバイスのインストール中に設定されます。
面付け	印刷された用紙が折り込まれ、トリミングされた後、正しい順序を保つためにプレス シートの表面と裏面のページ数を配列する方法。
ラスタ	行と列にピクセルごとに定義されたデジタル化された (ビットマップされた) イメージ。「RIP」も参照してください。
粒子フィルタ	イメージング中に放出される粒子の塵を捕らえる多孔性の材料を含みます。
ロード ランプ	出力デバイスの上のガラスの角度のついたシート。フィルムのシングル プレートは、ロード ランプを通じて出力デバイスに手動でフィードされます。
露出ヘッド	赤外線熱エネルギーを使用して、ヘッドが「燃える」かイメージが IR 感知メディアに転送されます。イメージング ヘッドとも呼ばれます。
ワークステーション	Windows NT® オペレーティング システムと Print Console を実行する高速コンピュータ。PostScript ファイルを受信するローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続されます。
ワークステーション ソフトウェア	「Print Console」を参照してください。

索引

数字

0.01 ミクロン フィルタ, 46
5 ミクロン フィルタ, 43

C

[Cancel (キャンセル)] ボタン, 56
CDRH 認証ラベル, 87
CE ラベル, 88, 100
Creo の連絡先, xi
CSA ラベル, 88
C-Tick ラベル, 89

E

[Eject (排出)] ボタン, 56
EMC 標準, 102
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ, 5, 72
  安全性, 5
  リセット, 72

F

FCC
  規則, 102
  認定ラベル, 102
FCC 認証ラベル, 88

H

[History (履歴)] ペイン
  エラー , 55
  警告, 54

I

ID ラベル, 86

L

[Leave On (オンのまま)] ボタン, 56

M

[Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタン, 56
[Message (メッセージ)] ペイン, 54

P

Print Console
  [History (履歴)] ペイン, 54
  [Message (メッセージ)] ペイン, 54

R

[Release (リリース)] ボタン, 56
[Resume (続行)] ボタン, 56

S

[Start (スタート)] ボタン, 11

T

Trendsetter
  コンポーネント, 10
  システム, 8
  消耗品, 13
  説明, 8

あ

アクセス パネル
  「パネル」を参照
圧縮エア サプライ フィルタ
  「エア サプライ フィルタ」を参照
安全性
  安全に関する情報, 2
    [Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ , 5
    インターロック システム , 4, 28
  メンテナンス, 28
安全性インターロックオーバーライド ラベル, 95

い

移動
  後続エッジ クランプ, 76
イメージ品質上の問題
  解決, 78
イメージ品質上の問題の解決, 78
イメージング ライト, 11
イメージングされたメディア
  取り外す, 24
インターロック システム, 4, 28
インターロック故障時に可動部品に注意ラベル, 97

う

ウォームアップ時間, 18

え

エア サプライ フィルタ
  0.01 ミクロン, 46
  5 ミクロン, 43
  検査, 42
  交換, 40
  交換の頻度, 40
  場所, 41
エア フィルタ
  「フィルタ」を参照
エッジ検出ストリップ
  清掃, 37
  場所, 37
エラー
  エラー メッセージ, 54
    望ましい解決法 , 58
    番号順のリスト , 60
  エラーの分類, 59
  オペレータが回復可能, 54
  警告メッセージ, 54
エラー ライト, 11

お

オペレータ インターフェイス, 54
  [Start (スタート)] ボタン, 11
  イメージング ライト, 11
  エラー ライト, 11
  説明, 10
  ロード ライト, 11
オペレータが回復可能なエラー
  処理を中断, 54
  操作の続行, 54

か

回復可能なエラー
「オペレータが回復可能なエラー」を参照
回路ブレーカー
トリップされた, 78
パネルの場所, 78
リセット, 78
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品ラベル, 91
過熱表面注意ラベル, 96
環境に関する仕様
温度, 12
湿度, 12
ノイズ, 12

き

機械的な安全, 100
危険記号, xi
危険電圧ラベル, 96
吸気フィルタ
検査, 49
交換, 49
場所, 49

く

空圧の損失, 79
クラス 1 レーザー製品ラベル, 87

け

警告記号, xi
検査
エア サプライ フィルタ, 42
吸気フィルタ, 49
見当ピン, 23

こ

高圧漏れ電流ラベル, 94
交換
エア サプライ フィルタ, 40
吸気フィルタ, 49
塵除去フィルタ, 51
電源ボックス パネル, 36
ファン ボックス パネル, 35
交換部品, 82
後続エッジ クランプ, 74, 77
移動, 76
パーク ポジション, 73
このマニュアルで使用される記号, xi
コンポーネント
システム, 8
出力デバイス, 10

さ

サーマル プレート
サポートされているメディア, 14

し

重要記号, xi
出力デバイス
ウォームアップ時間, 18
エラー , 54
外部の清掃, 28
空圧の損失, 79
始動, 18
シャットダウン, 19
内部へのアクセス, 30
メンテナンス, 26
リセット, 72
出力デバイスの空圧の損失, 79
出力デバイスのコンポーネント, 8
出力デバイスの始動, 18
出力デバイスのステータス, 10
出力デバイスの内部
清掃, 37
出力デバイスの内部へのアクセス, 30
出力デバイスをオフにする, 19
出力デバイスをオンにする, 18
出力デバイスをシャットダウンする, 19
遵守
「法律上の遵守事項」を参照
遵守の宣言, 101
仕様 (環境)
温度, 12
湿度, 12
ノイズ, 12
消耗品, 13
塵フィルタ, 13
フィルタ, 13
プロセッサ消耗品, 13
メディア, 13

す

スケジュール、メンテナンス, 26

せ

清掃
エッジ検出ストリップ, 37
出力デバイスの外部, 28
出力デバイスの内部, 37
推奨事項, 29
プレート ローラー , 39
ロード ランプ, 29
整列ラベル
サポートされているサイズ, 23
説明, 24
先端エッジ アクチュエータ, 97
先端エッジ クランプ, 77
場所, 75
前面パネル, 30
閉じる, 33
開く, 32

そ

ソレノイド ロック ラベル, 98

ち

注意記号, xi
中断オプション
[Eject (排出)] ボタン, 56
[Leave On (オンのまま)] ボタン, 56
中断条件, 55
回復, 56
処理を中断, 54
中断条件オプション, 56
[Cancel (キャンセル)] ボタン, 56
[Media Removed (メディア取り外し完了)] ボタン, 56
[Release (リリース)] ボタン, 56
[Resume (続行)] ボタン, 56
塵除去, 51

て

手を触れないでください警告ラベル, 97
電気的な安全, 100

電源ボックス パネル, 30
交換, 36
取り外す, 36
電源の障害
回復, 78

と

ドア インターロック危険ラベル, 93
閉じる
前面パネル, 33
トップ パネル, 33
トップ パネル, 30
閉じる, 33
開く, 32
ドラム
場所, 39
取り除く
メディアの詰まり, 73
取り外す
イメージングされたメディア, 24
電源ボックス パネル, 36
ファン ボックス パネル, 34
汚れ, 29

の

ノイズの放出, 103

は

背面パネル, 30
パネル
前面パネル, 30
電源ボックス パネル, 30, 36
トップ パネル, 30
背面パネル, 30
ファン ボックス パネル, 30

ひ

非インターロック式パネル危険ラベル, 92
備考記号, xi
ヒューズ交換ラベル, 98
開く
前面パネル, 32
電源ボックス パネル, 36
トップ パネル, 32
ファン ボックス パネル, 34

ふ

ファン ボックス パネル, 30
交換, 35
取り外す, 34
フィルタ
エア サプライ フィルタ
0.01 ミクロン , 46
5 ミクロン , 43
検査 , 42
交換 , 40
交換の頻度 , 40
場所 , 41
吸気フィルタ
検査 , 49
交換 , 49
場所 , 49
塵除去フィルタ
交換 , 51
フィルム
「メディア」を参照
部品のリスト, 82
部品番号
UDRC-B の粒子フィルタ, 82
エア サプライ フィルタ キット, 82
吸気フィルタ, 82
フィルタ ボール/ガード, 82
粒子フィルタ スペーサー , 82
プレート
「メディア」を参照
プレート ローラー
清掃, 39
場所, 39
プレートの曲げとパンチング, 24

ほ

法律上の遵守事項
EMI/EMC, 102
機械的な安全, 100
電気的な安全, 100
ノイズの放出, 103
レーザーの安全性, 102

ま

マニュアルで使用されているフォント, x
マニュアルでの表記規則, x

め

メッセージ
エラー , 54
警告, 54
メディア
見当, 24
サポート, 14
処理, 16
寸法, 16
寸法のダイアグラム, 16
整列ラベル, 24
324 mm 以下 , 23
324 mm ~ 559 mm, 23
559 mm 以上 , 23
ドラムで詰まる, 73
取り外す, 24
方向, 15
横方向, 15
ロード, 20
メディアの詰まり
取り外す, 73
メディアのロード, 20
メンテナンス, 25
0.01 ミクロン フィルタの交換, 46
5 ミクロン フィルタの交換, 43
エッジ検出ストリップ, 37
吸気フィルタ, 49
出力デバイスの外部, 28
出力デバイスの内部, 37
スケジュール, 26
清掃時の推奨事項, 29
塵除去フィルタ, 51
プレート ローラー , 39
汚れの除去, 29
ロード ランプ, 29

よ

汚れ
取り外す, 29

ら

ラッチ
前面パネル, 32
ラベル
CDRH 認証, 87
CE, 88
CSA, 88

C-Tick, 89
FCC 認証, 88
ID, 86
安全性インターロック オーバーライド, 95
インターロック故障時に可動部品に注意, 97
可動部品注意事項/レーザー危険警告/放射線出力/クラス 4 レーザー製品, 91
過熱表面注意, 96
危険電圧, 96
クラス 1 レーザー製品, 87
高圧漏れ電流, 94
ソレノイド ロック, 98
手を触れないでください警告, 97
ドア インターロック危険, 93
非インターロック式パネル危険, 92
ヒューズ交換, 98
露出ヘッド アパチュア, 91

り

リセット
[Emergency Stop (緊急停止)] スイッチ, 72
出力デバイス, 72
トリップされた回路ブレーカー , 78

れ

レーザーの安全性, 4, 102
レーザーの安全性ラベル, 90

ろ

ロード ライト, 11
ロード ランプ
清掃, 29
説明, 10
メディアの見当, 24
露出ヘッド アパチュア ラベル, 91

わ

ワークステーション ソフトウェア
「Print Console」を参照

www.creo.com | creo™